

# 佐倉市環境基本計画策定に係る アンケート調査報告書

2019年（平成31年）3月  
佐倉市生活環境課



# 目次

第1章 調査の概要	1
第1節 市民アンケート調査	1
1-1 目的	1
1-2 調査地域	1
1-3 調査対象	1
1-4 抽出方法	1
1-5 調査期間	1
1-6 調査方法	1
1-7 回収状況	1
1-8 調査項目	1
第2節 事業所アンケート調査	2
2-1 目的	2
2-2 調査地域	2
2-3 調査対象	2
2-4 抽出方法	2
2-5 調査期間	2
2-6 調査方法	2
2-7 回収状況	2
2-8 調査項目	2
第2章 市民アンケート調査の結果	4
第1節 回答者の属性	4
1-1 性別	4
1-2 年代	4
1-3 職業	4
1-4 住居の形態	5
1-5 居住地区	5
第2節 佐倉市の環境について	6
2-1 地区の環境について感じていること	6
2-2 地区の環境について、改善すべき・取り組むべき環境の課題	20
第3節 普段の環境活動について	22
3-1 環境について、普段取り組んでいること	22
3-2 環境活動への参加状況	23
第4節 地球温暖化対策への取り組みについて	24
4-1 地球温暖化対策への取り組み状況	24
4-2 地球温暖化対策について、市が重点的に進めるべき施策	25
第5節 佐倉市の自然環境について	26
5-1 保全したほうがよい自然環境	26
5-2 特に保全したほうがよい自然環境（具体的に）	27

5 - 3	生物多様性の認知度 .....	28
5 - 4	生物多様性を守るために重要なこと .....	29
第 6 節	市の環境への主な取り組みについて .....	30
6 - 1	市の環境施策の認知度 .....	30
6 - 2	市が重点的に取り組むべき環境対策 .....	31
第 6 節	自由回答 .....	32
第 3 章	事業所アンケート調査の結果 .....	33
第 1 節	事業所について .....	33
1 - 1	業種 .....	33
1 - 2	従業員規模 .....	33
第 2 節	事業所の環境活動について .....	34
2 - 1	環境配慮活動への取り組み状況 .....	34
2 - 2	環境配慮活動の実施状況 .....	35
2 - 3	環境活動に取り組んだ効果 .....	39
2 - 4	地域の環境のために行っている取り組み .....	40
2 - 5	環境活動に取り組む意義 .....	41
2 - 6	環境活動を進めるにあたっての課題 .....	42
第 3 節	事業所の地球温暖化対策への取り組みについて .....	43
3 - 1	地球温暖化対策への取り組み状況 .....	43
3 - 2	地球温暖化対策について、市が重点的に進めるべきだと思ふ施策 .....	44
第 4 節	佐倉市の自然環境について .....	45
4 - 1	保全したほうがよいと思ふ自然環境 .....	45
4 - 2	生物多様性の認知度 .....	46
4 - 3	生物多様性を守るために重要なこと .....	47
第 5 節	佐倉市の環境・市政について .....	48
5 - 1	市が重点的に取り組むべき環境対策 .....	48
5 - 2	環境活動を進めるために行政に望むこと .....	49
第 6 節	自由回答 .....	50

## 第1章 調査の概要

### 第1節 市民アンケート調査

#### 1-1 目的

佐倉市では、新たな佐倉市環境基本計画の策定を進めているところです。

本調査は、市民の方々の環境に関するご意見やご要望などをお伺いし、計画に反映することを目的として実施しました。

#### 1-2 調査地域

佐倉市全域

#### 1-3 調査対象

佐倉市在住の満20歳以上の男女1,500人

#### 1-4 抽出方法

「住民基本台帳」からの無作為抽出

#### 1-5 調査期間

平成30年11月1日から平成30年11月16日

#### 1-6 調査方法

郵送により調査票を配布、回収

#### 1-7 回収状況

配布数 1,500、有効回収数 549、有効回収率 36.6%

#### 1-8 調査項目

- ① 回答者自身について
- ② 佐倉市の環境について
- ③ 普段の環境活動について
- ④ 地球温暖化対策への取り組みについて
- ⑤ 佐倉市の自然環境について
- ⑥ 市の環境への主な取り組みについて
- ⑦ 自由回答

## 第2節 事業所アンケート調査

### 2-1 目的

佐倉市では、新たな佐倉市環境基本計画の策定を進めているところです。

本調査は、事業者の皆様の環境活動への取り組み状況や市の環境施策などに対するご意見をお伺いし、計画に反映することを目的として実施しました。

### 2-2 調査地域

佐倉市全域

### 2-3 調査対象

市内の200事業所

### 2-4 抽出方法

商工会議所名簿、認定農業者名簿からの無作為抽出  
(平成28年に実施された「経済センサス-活動調査」のデータを用い、市内事業所の業種ごとの構成比率に基づき抽出)

### 2-5 調査期間

平成30年11月1日から平成30年11月16日

### 2-6 調査方法

郵送により調査票を配布、回収

### 2-7 回収状況

配布数 200、有効回収数 86、有効回収率 43.0%

### 2-8 調査項目

- ① 事業所について
- ② 事業所の環境活動について
- ③ 事業所の地球温暖化対策への取り組みについて
- ④ 地球温暖化対策への取り組みについて
- ⑤ 佐倉市の自然環境について
- ⑥ 佐倉市の環境・市政について
- ⑦ 自由回答

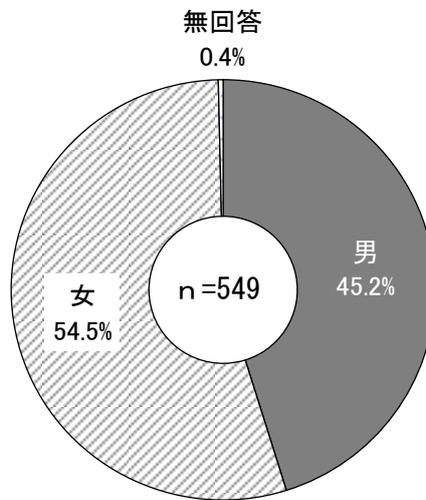
## 本報告書の留意点

- ・回答結果は、小数点第2位を四捨五入して、それぞれの割合を示しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析、グラフ、表においても反映しています。
- ・複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対するそれぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ・数表等に記載された「n」は、回答割合算出上の基数（回答数）を示しています。
- ・全問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して続けて行った質問の回答割合は、層化された回答者を基数として算出しています。
- ・文中では選択肢（変数）を「 」で示しています。選択肢の文章が長い場合は、一部省略したところがあります。また、2つ以上の選択肢を合計して表す場合には『 』で示しています。

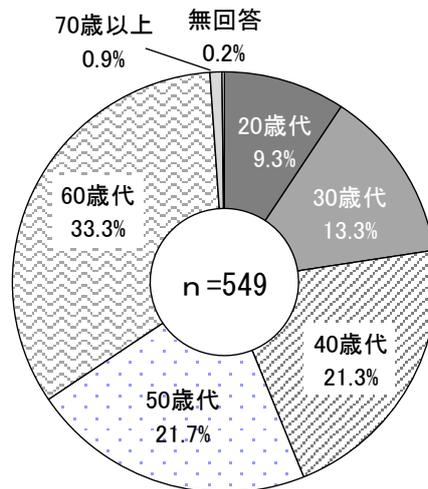
## 第2章 市民アンケート調査の結果

### 第1節 回答者の属性

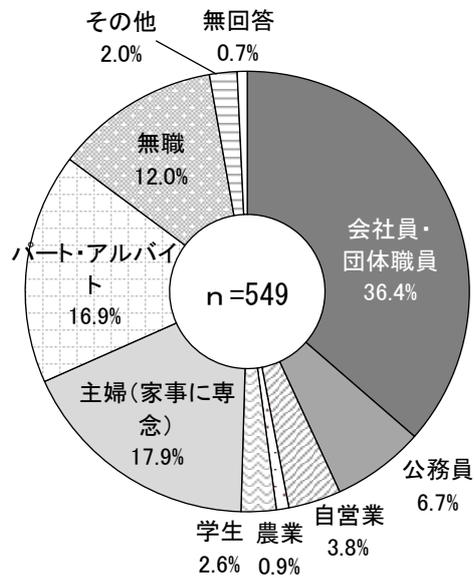
#### 1-1 性別



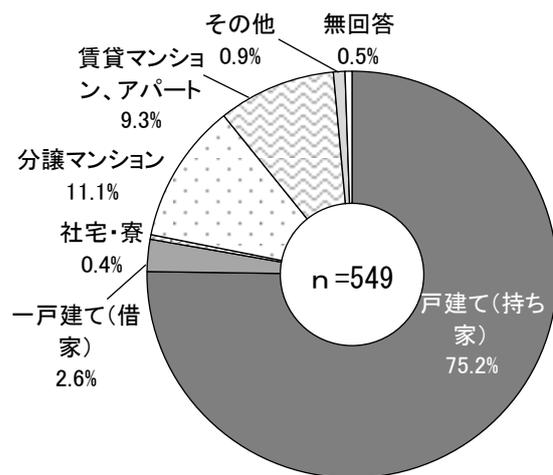
#### 1-2 年代



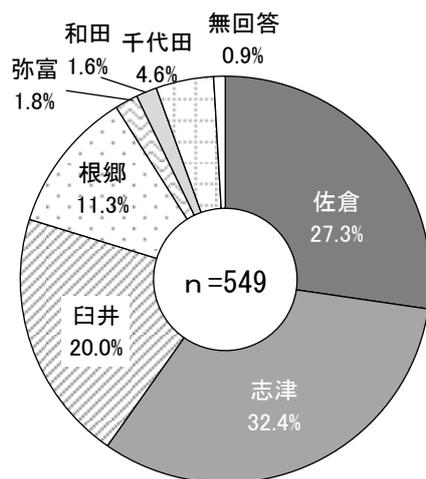
#### 1-3 職業



#### 1-4 住居の形態



#### 1-5 居住地区

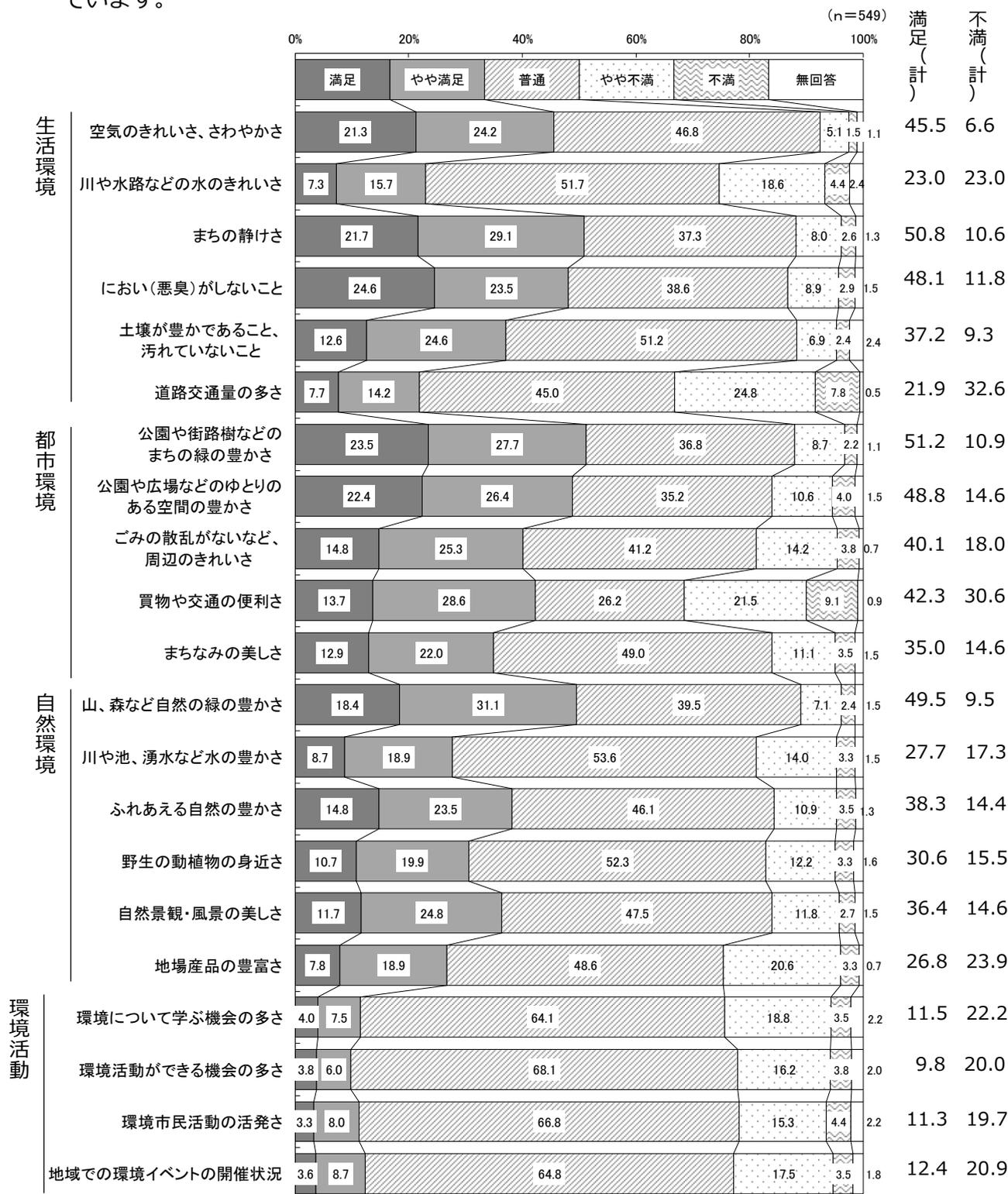


## 第2節 佐倉市の環境について

### 2-1 地区の環境について感じていること

問6 あなたの住んでいる地区の環境について、日ごろどのように感じていますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1~5の中から1つだけ○で囲んでください。

地区の環境について感じていることを聞いたところ、『満足（計）』と回答した割合は、「公園や街路樹などのまちの緑の豊かさ」、「まちの静けさ」、「山、森など自然の緑の豊かさ」、「公園や広場などのゆとりのある空間の豊かさ」、「におい（悪臭）がしないこと」で約5割となっています。



【地区の環境について感じていること 『満足（計）』 上位5項目／居住地区別】

	佐倉	志津	臼井	根郷	弥富	和田	千代田
1位	公園や街路樹などのまちの緑の豊かさ (57.3%)	買物や交通の便利さ (51.1%)	山、森など自然の緑の豊かさ (60.0%)	まちの静けさ (51.6%)	山、森など自然の緑の豊かさ (90.0%)	山、森など自然の緑の豊かさ (77.8%)	公園や街路樹などのまちの緑の豊かさ (72.0%)
2位	公園や広場などのゆとりのある空間の豊かさ (56.0%)	におい（悪臭）がしないこと (50.0%)	まちの静けさ (57.3%)	空気のきれいさ、さわやかさ (46.8%)	空気のきれいさ、さわやかさ (70.0%)	まちの静けさ (66.7%)	公園や広場などのゆとりのある空間の豊かさ (68.0%)
3位	山、森など自然の緑の豊かさ (56.0%)	公園や広場などのゆとりのある空間の豊かさ (50.0%)	空気のきれいさ、さわやかさ (50.9%)	におい（悪臭）がしないこと (45.2%)	川や池、湧水など水の豊かさ (70.0%)	自然景観・風景の美しさ (66.7%)	まちの静けさ (64.0%)
4位	におい（悪臭）がしないこと (52.0%)	公園や街路樹などのまちの緑の豊かさ (46.6%)	公園や街路樹などのまちの緑の豊かさ (50.9%)	公園や街路樹などのまちの緑の豊かさ (43.5%)	自然景観・風景の美しさ (70.0%)	ふれあえる自然の豊かさ (66.7%)	まちなみの美しさ (56.0%)
5位	まちの静けさ (50.0%)	まちの静けさ (45.5%)	におい（悪臭）がしないこと (50.0%)	公園や広場などのゆとりのある空間の豊かさ (40.3%)	まちの静けさ (60.0%)	地場製品の豊富さ (66.7%)	買物や交通の便利さ (52.0%)

注：表中の区分線が消えているところは、同率であることを表している。

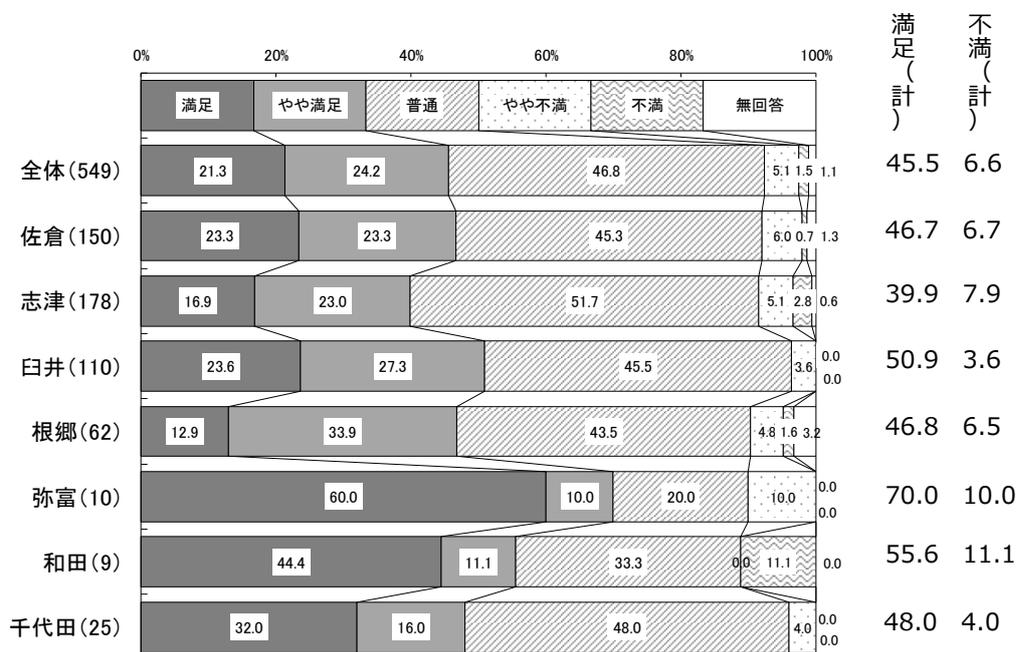
【地区の環境について感じていること 『不満（計）』 上位5項目／居住地区別】

	佐倉	志津	臼井	根郷	弥富	和田	千代田
1位	道路交通量の多さ (35.3%)	道路交通量の多さ (34.3%)	買物や交通の便利さ (26.4%)	買物や交通の便利さ (37.1%)	買物や交通の便利さ (70.0%)	買物や交通の便利さ (100.0%)	川や水路などの水のきれいさ (32.0%)
2位	買物や交通の便利さ (35.3%)	環境について学ぶ機会の多さ (30.3%)	地場製品の豊富さ (24.5%)	道路交通量の多さ (33.9%)	道路交通量の多さ (40.0%)	ごみの散乱がないなど、周辺のきれいさ (55.6%)	道路交通量の多さ (32.0%)
3位	川や水路などの水のきれいさ (30.0%)	環境活動ができる機会の多さ (27.5%)	道路交通量の多さ (22.7%)	地場製品の豊富さ (27.4%)	ごみの散乱がないなど、周辺のきれいさ (30.0%)	道路交通量の多さ (44.4%)	地域での環境イベントの開催状況 (24.0%)
4位	地場製品の豊富さ (22.7%)	地場製品の豊富さ (25.8%)	川や水路などの水のきれいさ (20.0%)	川や水路などの水のきれいさ (21.0%)	におい（悪臭）がしないこと (20.0%)	まちなみの美しさ (44.4%)	買物や交通の便利さ (20.0%)
5位	地域での環境イベントの開催状況 (20.7%)	地域での環境イベントの開催状況 (25.8%)	ごみの散乱がないなど、周辺のきれいさ (18.2%)	環境について学ぶ機会の多さ (19.4%)	土壌が豊かであること、汚れていないこと (20.0%)	環境市民活動の活発さ (44.4%)	地場製品の豊富さ (20.0%)

注：表中の区分線が消えているところは、同率であることを表している。

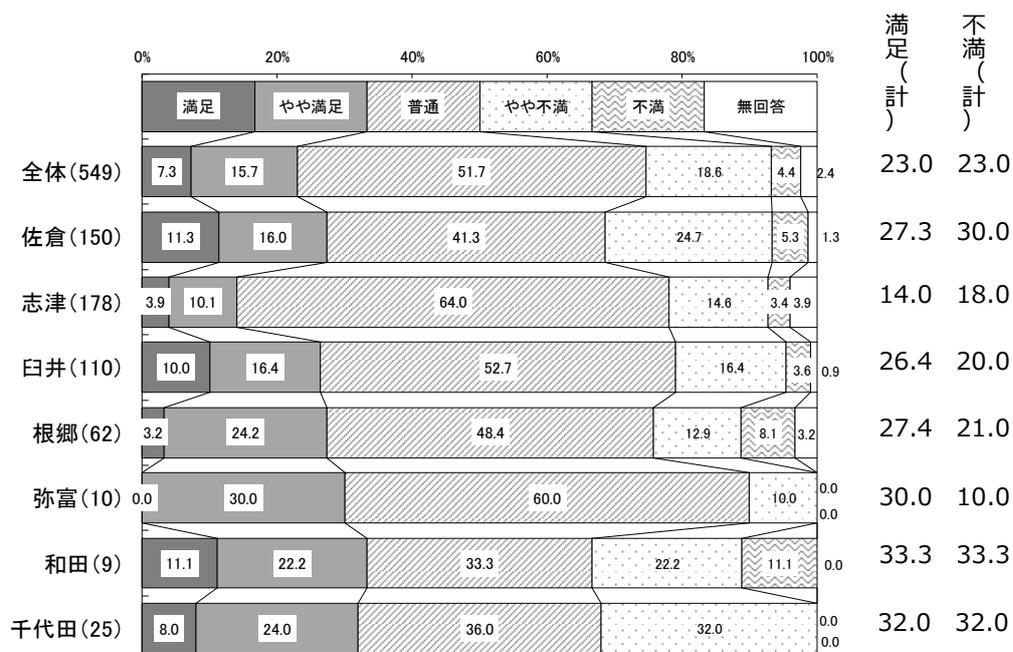
### 【空気のきれいさ、さわやかさ／居住地区別】

居住地区別でみると、「空気のきれいさ、さわやかさ」に『満足（計）』と回答した割合は、弥富で最も高くなっています。



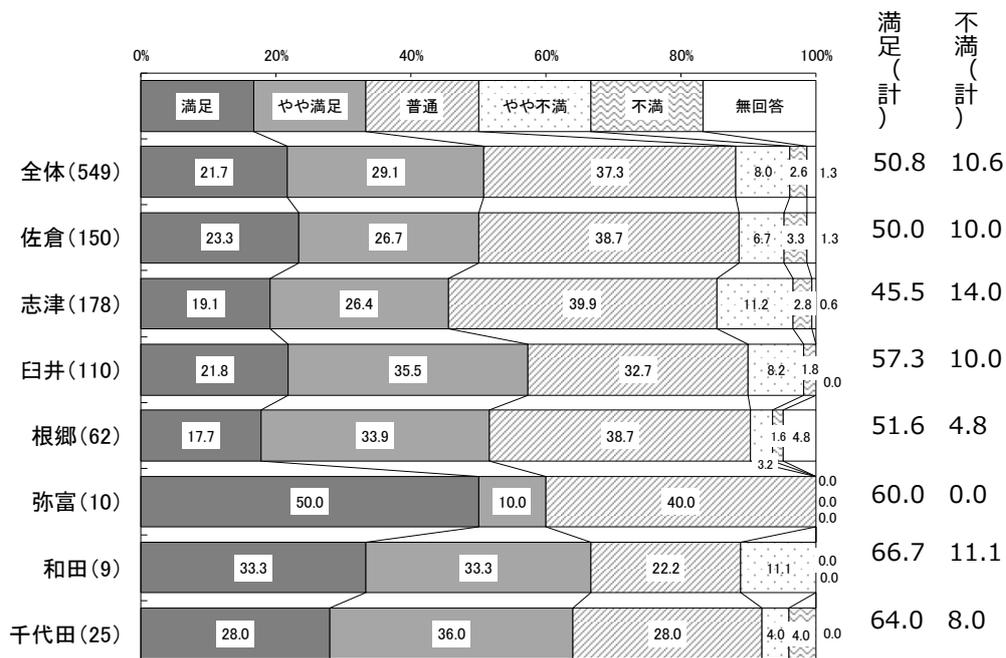
### 【川や水路などの水のきれいさ／居住地区別】

居住地区別でみると、「川や水路などの水のきれいさ」に『満足（計）』と回答した割合は、弥富、和田、千代田で高くなっています。



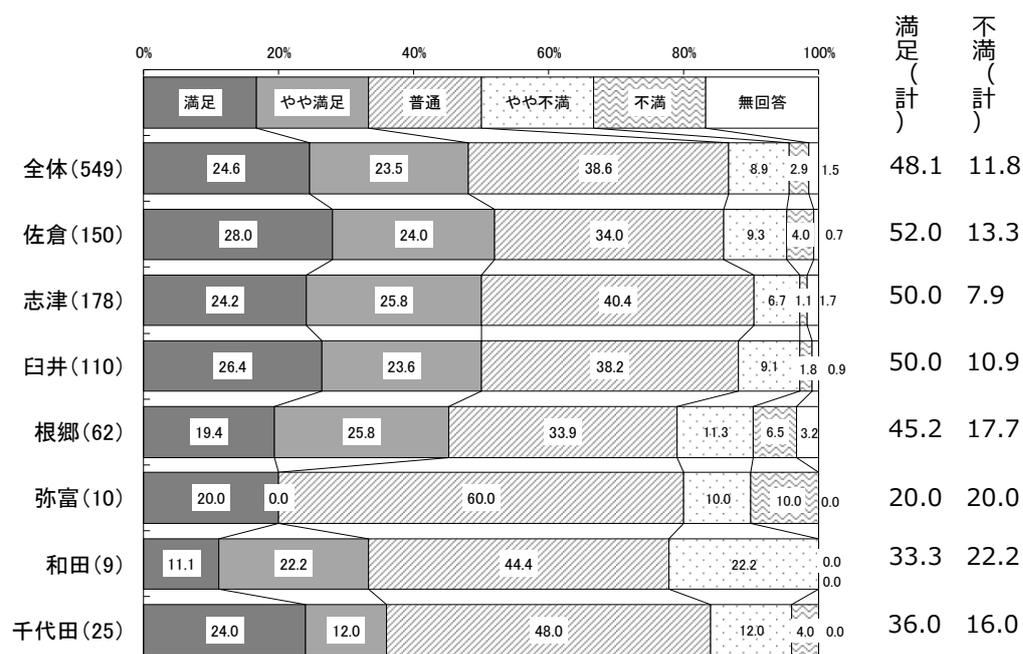
### 【まちの静けさ／居住地区別】

居住地区別でみると、「まちの静けさ」に『満足（計）』と回答した割合は、弥富、和田、千代田で高くなっています。



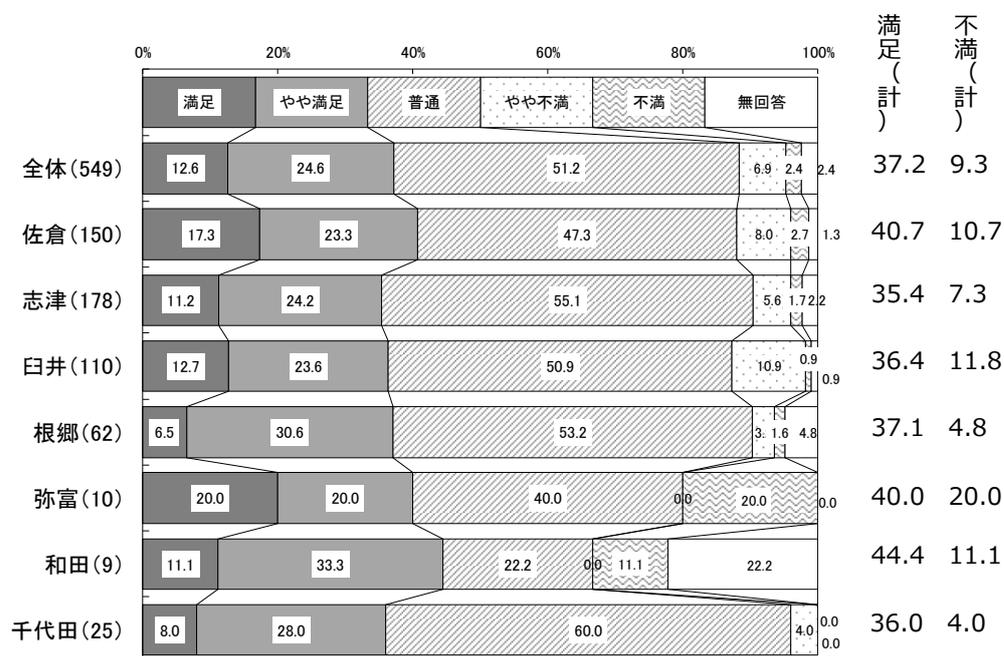
### 【におい（悪臭）がしないこと／居住地区別】

居住地区別でみると、「におい（悪臭）がしないこと」に『満足（計）』と回答した割合は、佐倉、志津、臼井で高くなっています。



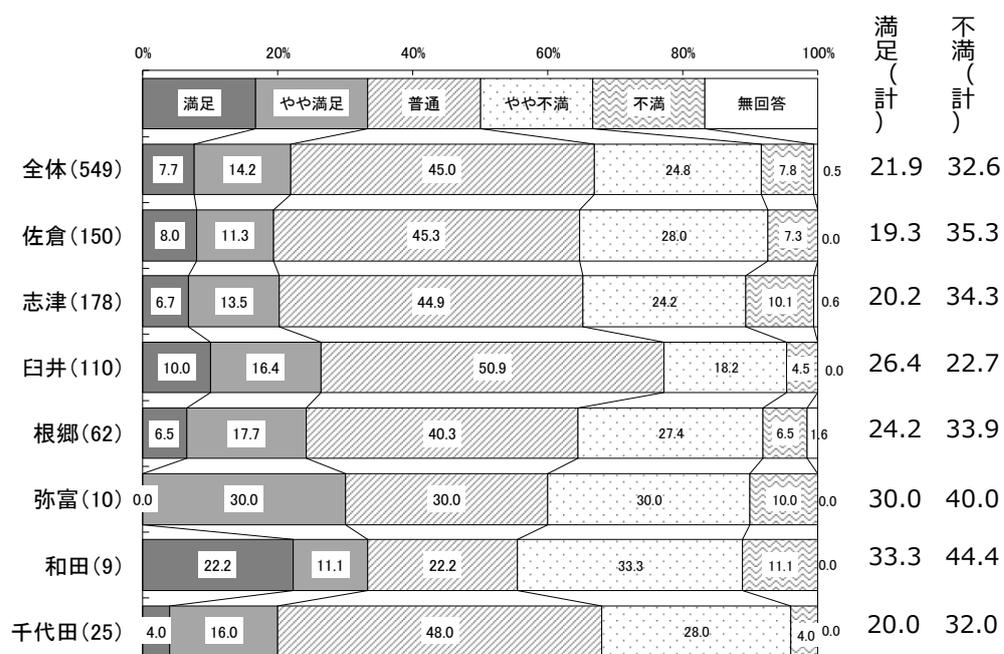
### 【土壌が豊かであること、汚れていないこと／居住地区別】

居住地区別で見ると、「土壌が豊かであること、汚れていないこと」に『満足（計）』と回答した割合は、佐倉、弥富、和田で高くなっています。



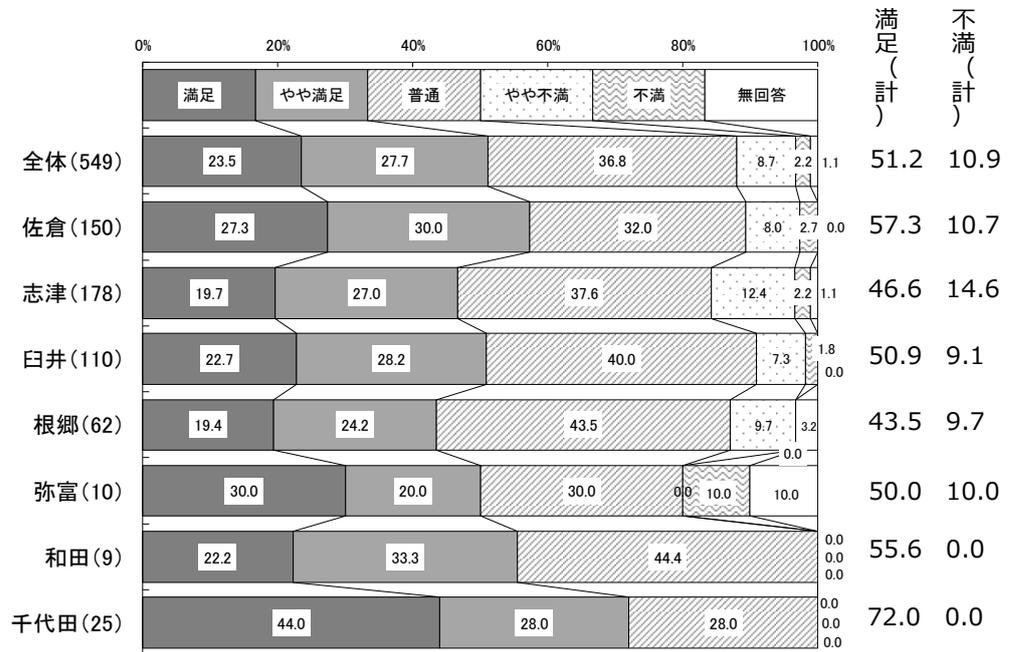
### 【道路交通量の多さ／居住地区別】

居住地区別で見ると、「道路交通量の多さ」に『満足（計）』と回答した割合は、弥富、和田で高くなっています。



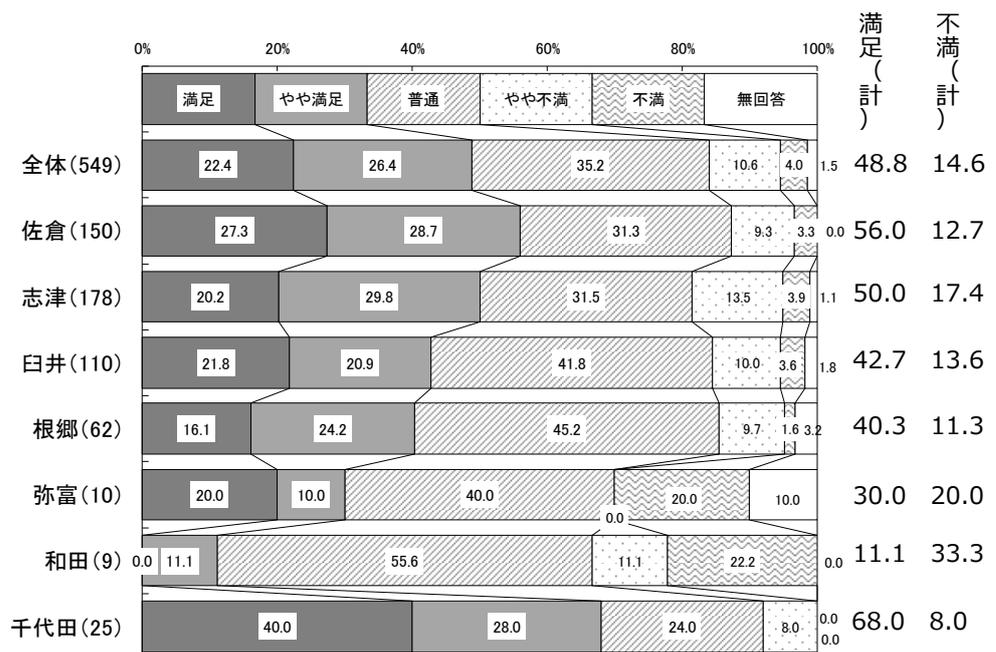
### 【公園や街路樹などのまちの緑の豊かさ／居住地区別】

居住地区別でみると、「公園や街路樹などのまちの緑の豊かさ」に『満足（計）』と回答した割合は、千代田で最も高くなっています。



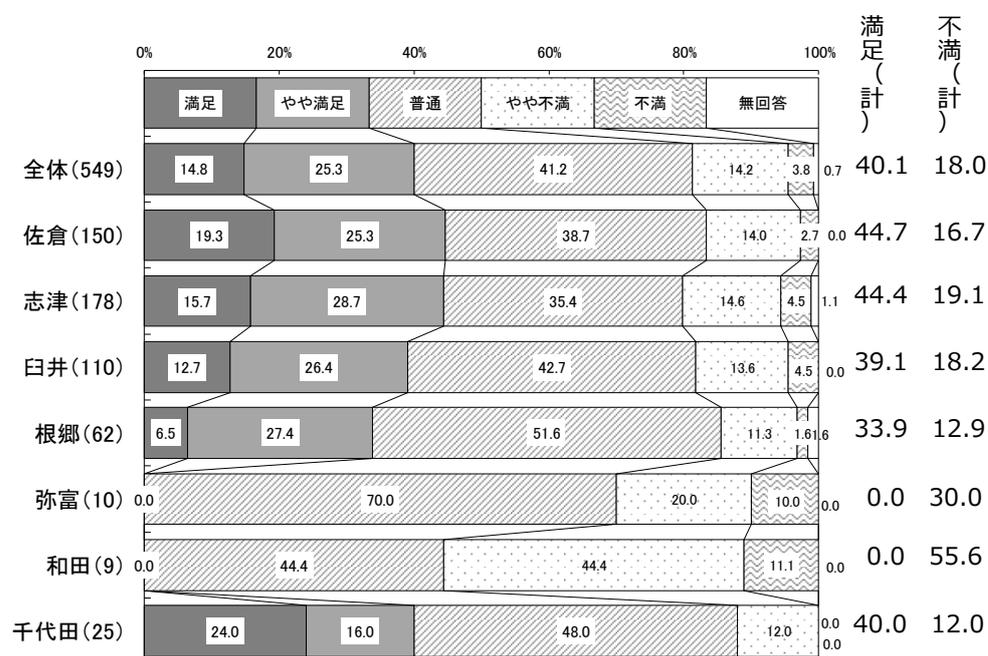
### 【公園や広場などのゆとりのある空間の豊かさ／居住地区別】

居住地区別でみると、「公園や広場などのゆとりのある空間の豊かさ」に『満足（計）』と回答した割合は、千代田で最も高くなっています。



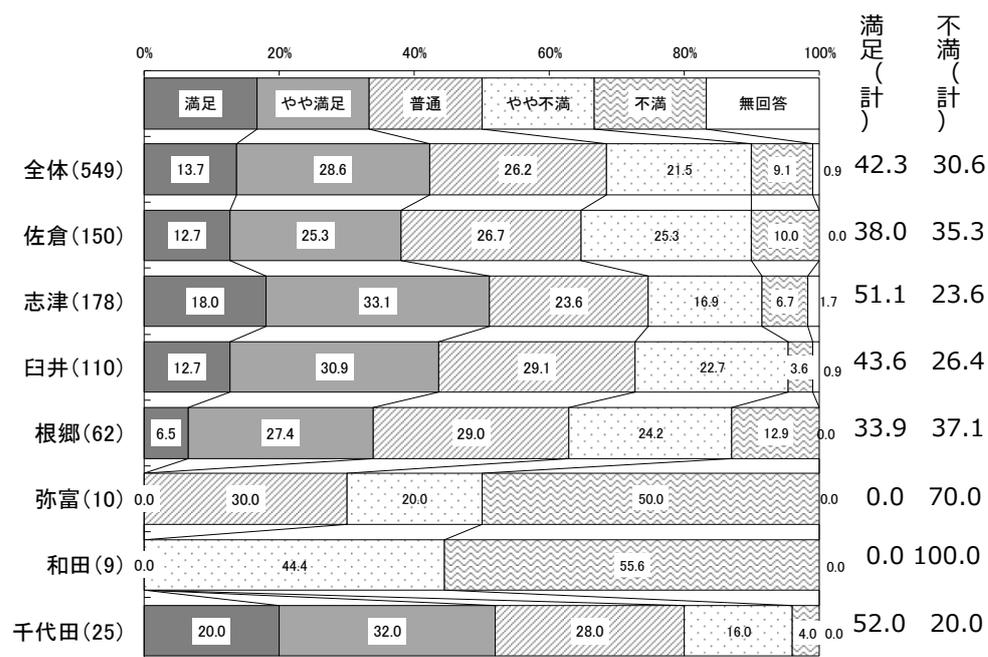
### 【ごみの散乱がないなど、周辺のきれいさ／居住地区別】

居住地区別で見ると、「ごみの散乱がないなど、周辺のきれいさ」に『満足（計）』と回答した割合は、佐倉、志津で高くなっています。



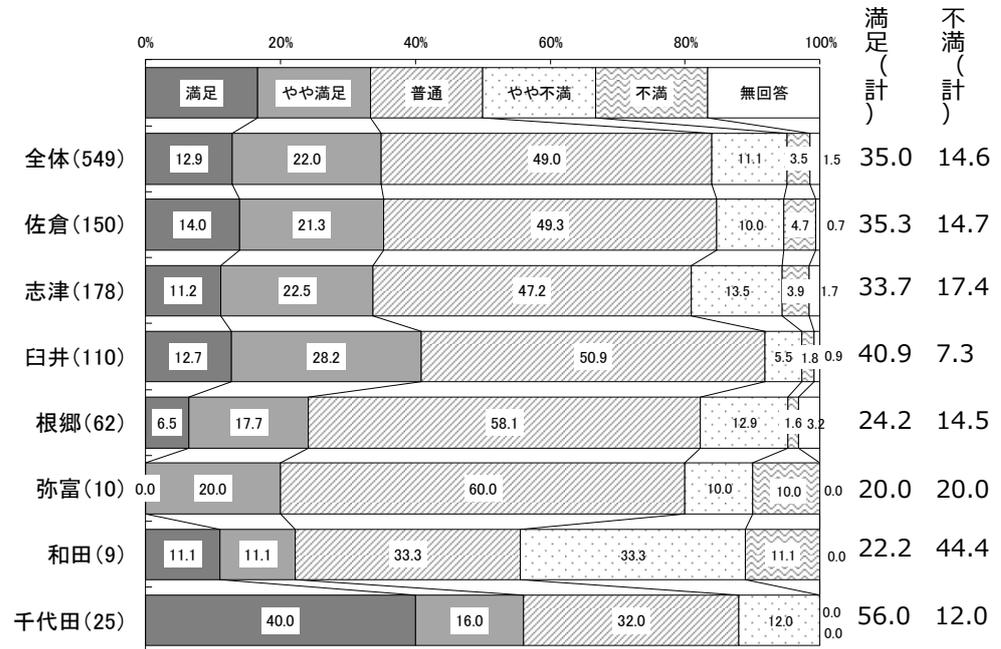
### 【買物や交通の便利さ／居住地区別】

居住地区別で見ると、「買物や交通の便利さ」に『満足（計）』と回答した割合は、志津、千代田で高くなっています。



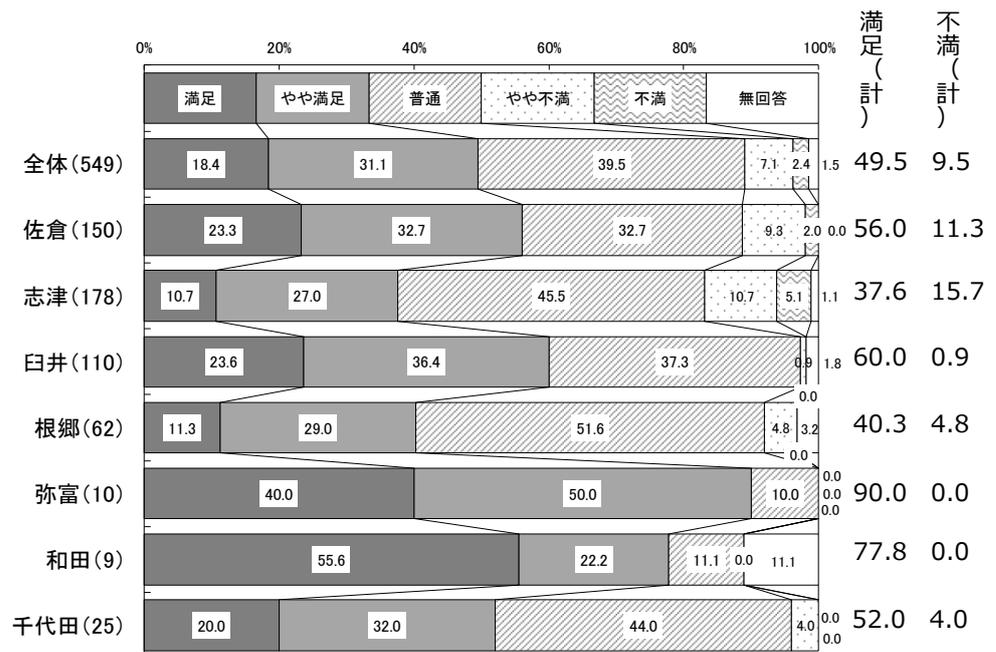
### 【まちなみの美しさ／居住地区別】

居住地区別でみると、「まちなみの美しさ」に『満足（計）』と回答した割合は、千代田で最も高くなっています。



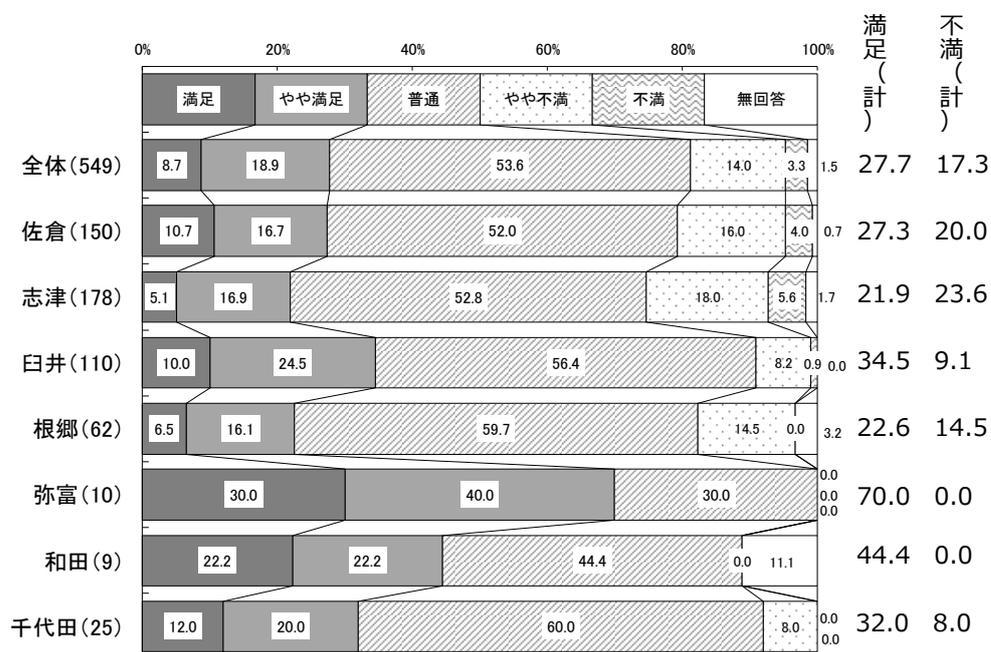
### 【山、森など自然の緑の豊かさ／居住地区別】

居住地区別でみると、「山、森など自然の緑の豊かさ」に『満足（計）』と回答した割合は、弥富で最も高くなっています。



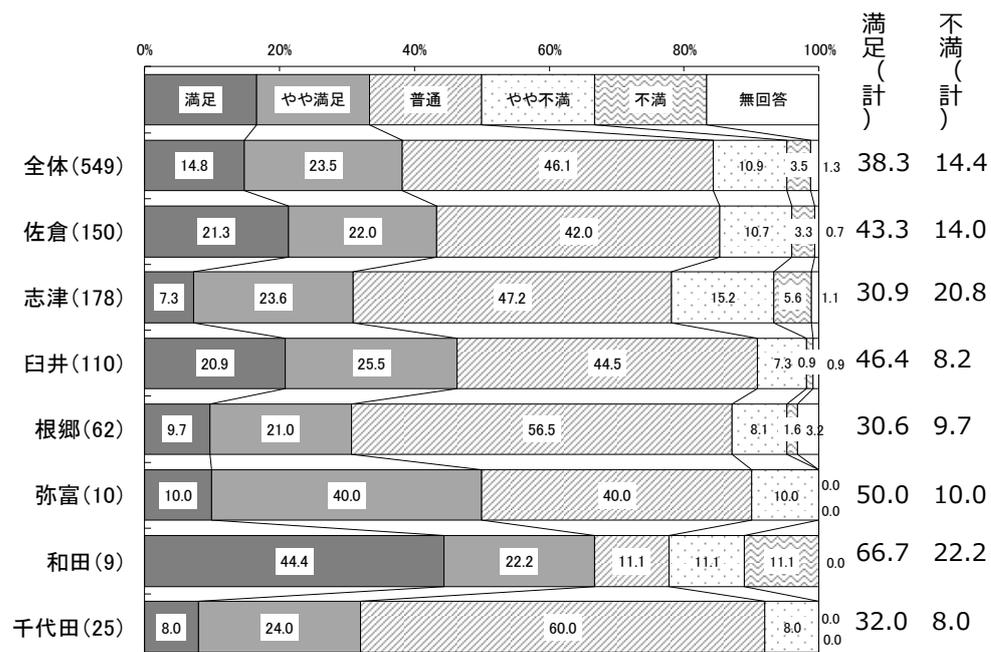
### 【川や池、湧水など水の豊かさ／居住地区別】

居住地区別で見ると、「川や池、湧水など水の豊かさ」に『満足（計）』と回答した割合は、弥富で最も高くなっています。



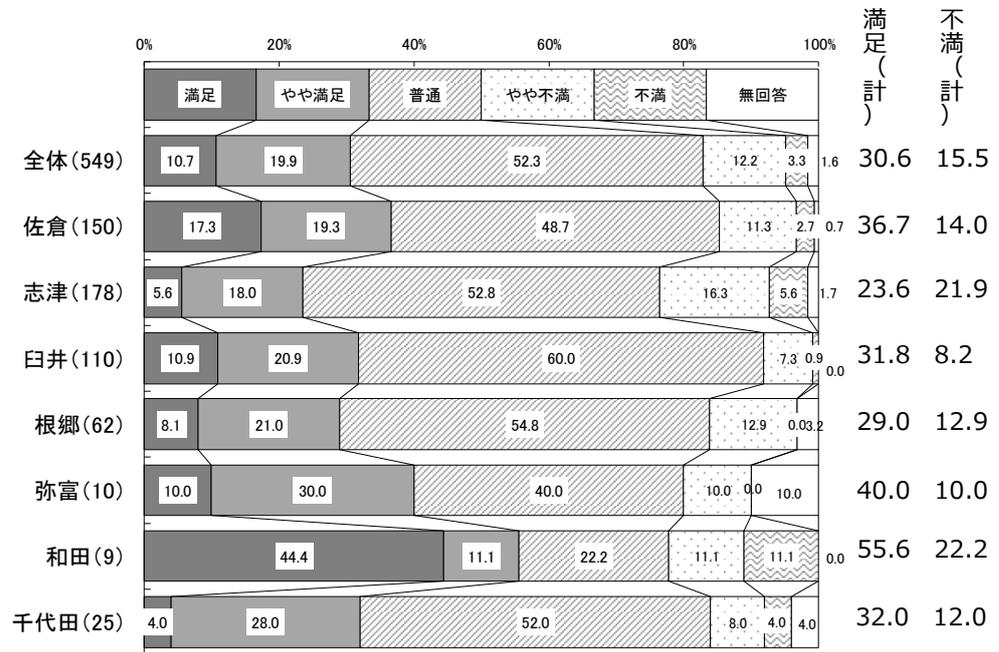
### 【ふれあえる自然の豊かさ／居住地区別】

居住地区別で見ると、「ふれあえる自然の豊かさ」に『満足（計）』と回答した割合は、和田で最も高くなっています。



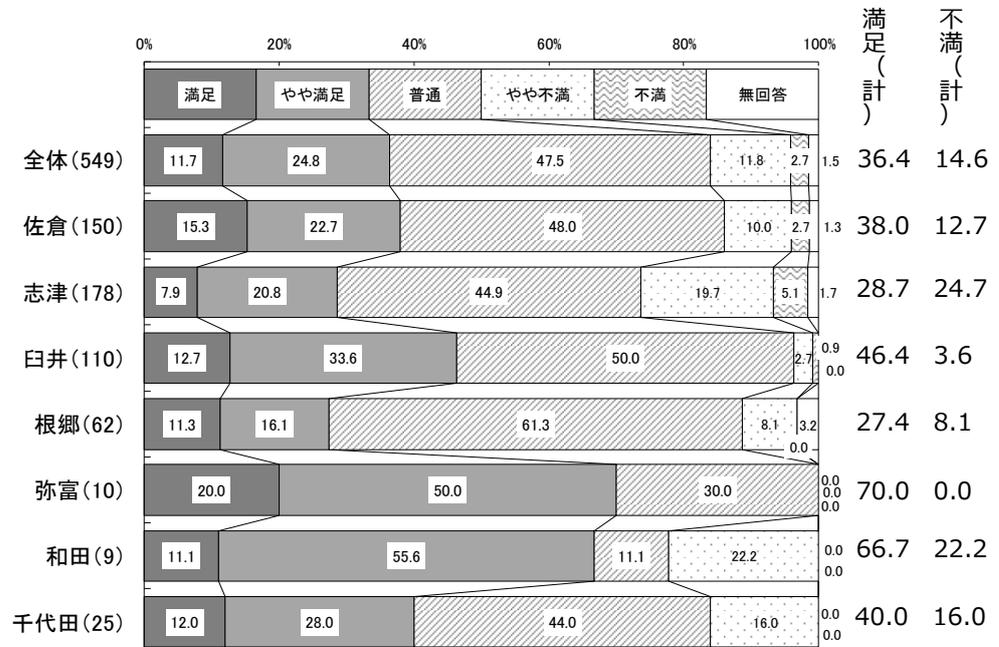
### 【野生の動植物の身近さ／居住地区別】

居住地区別で見ると、「野生の動植物の身近さ」に『満足（計）』と回答した割合は、和田で最も高くなっています。



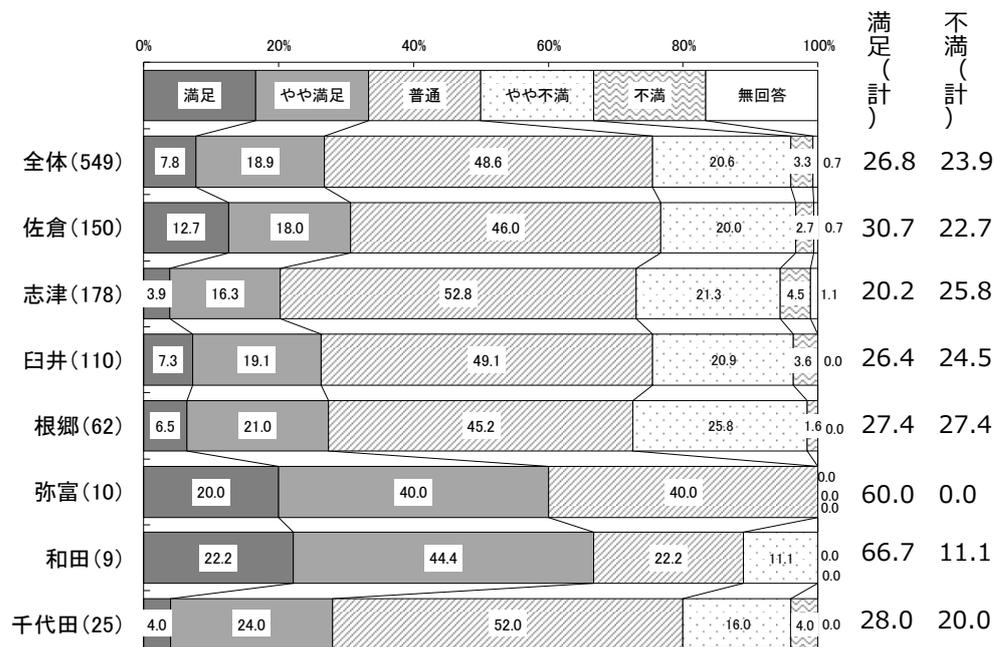
### 【自然景観・風景の美しさ／居住地区別】

居住地区別で見ると、「自然景観・風景の美しさ」に『満足（計）』と回答した割合は、弥富、和田で高くなっています。



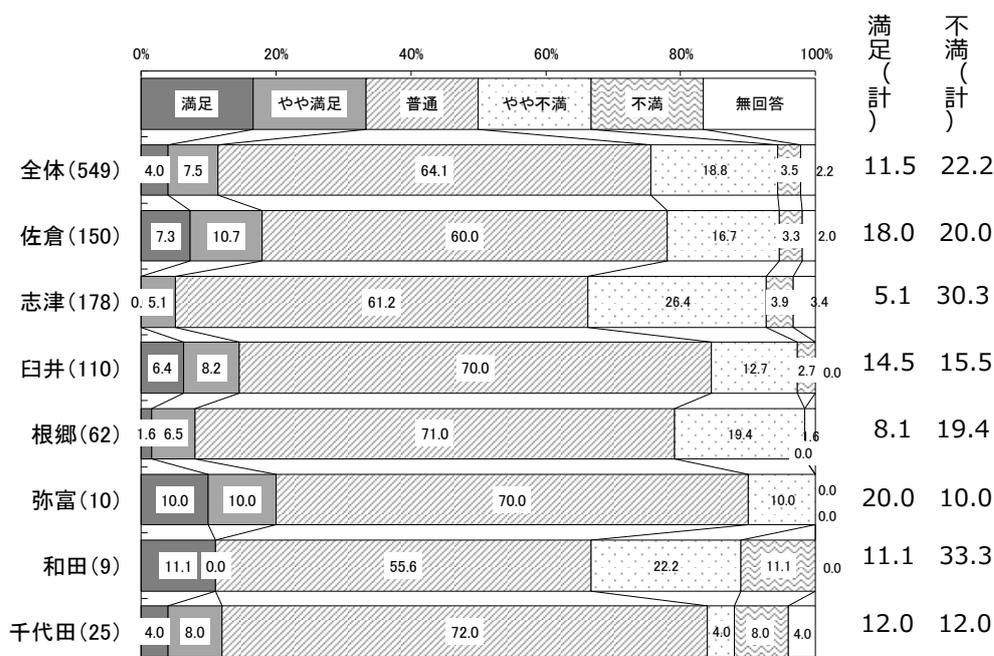
### 【地場産品の豊富さ／居住地区別】

居住地区別で見ると、「地場産品の豊富さ」に『満足（計）』と回答した割合は、弥富、和田で高くなっています。



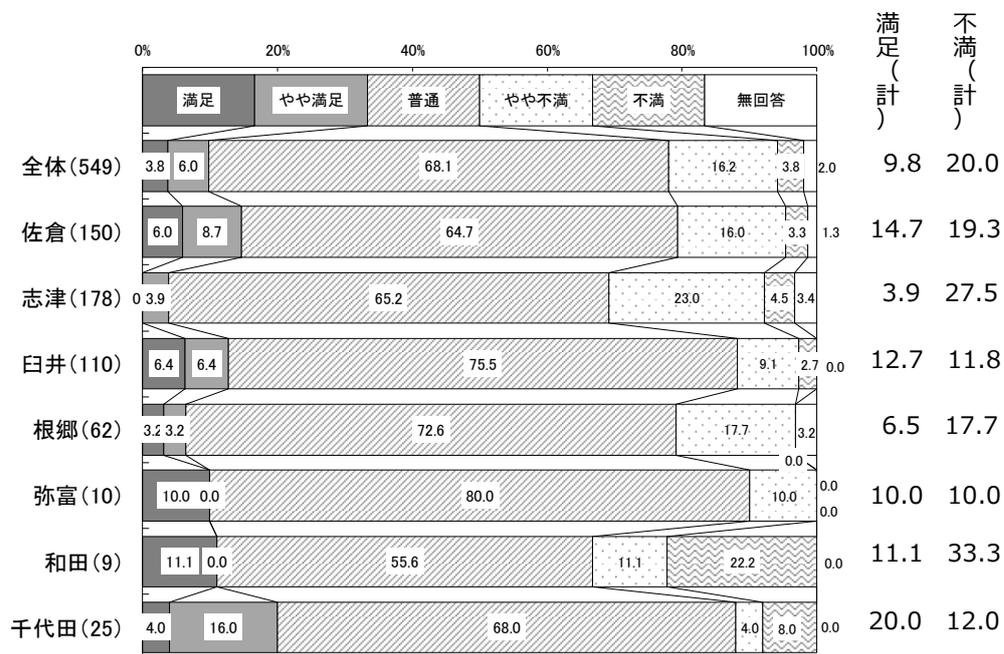
### 【環境について学ぶ機会の多さ／居住地区別】

居住地区別で見ると、「環境について学ぶ機会の多さ」に『満足（計）』と回答した割合は、佐倉、弥富で高くなっています。



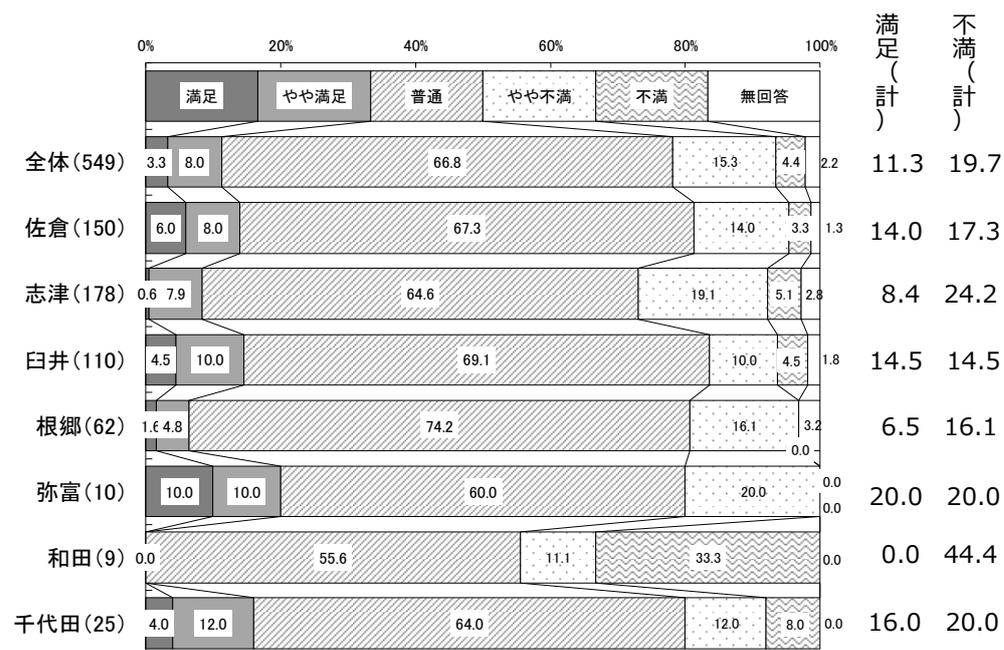
### 【環境活動ができる機会の多さ／居住地区別】

居住地区別で見ると、「環境活動ができる機会の多さ」に『満足（計）』と回答した割合は、千代田で最も高くなっています。



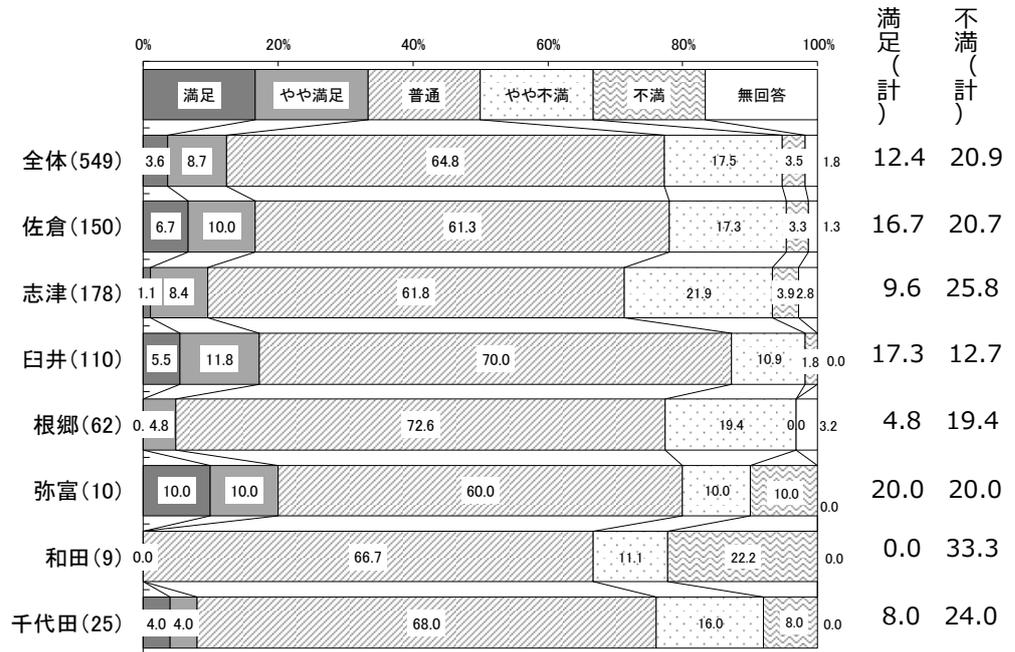
### 【環境市民活動の活発さ／居住地区別】

居住地区別で見ると、「環境市民活動の活発さ」に『満足（計）』と回答した割合は、弥富で最も高くなっています。



### 【地域での環境イベントの開催状況／居住地区別】

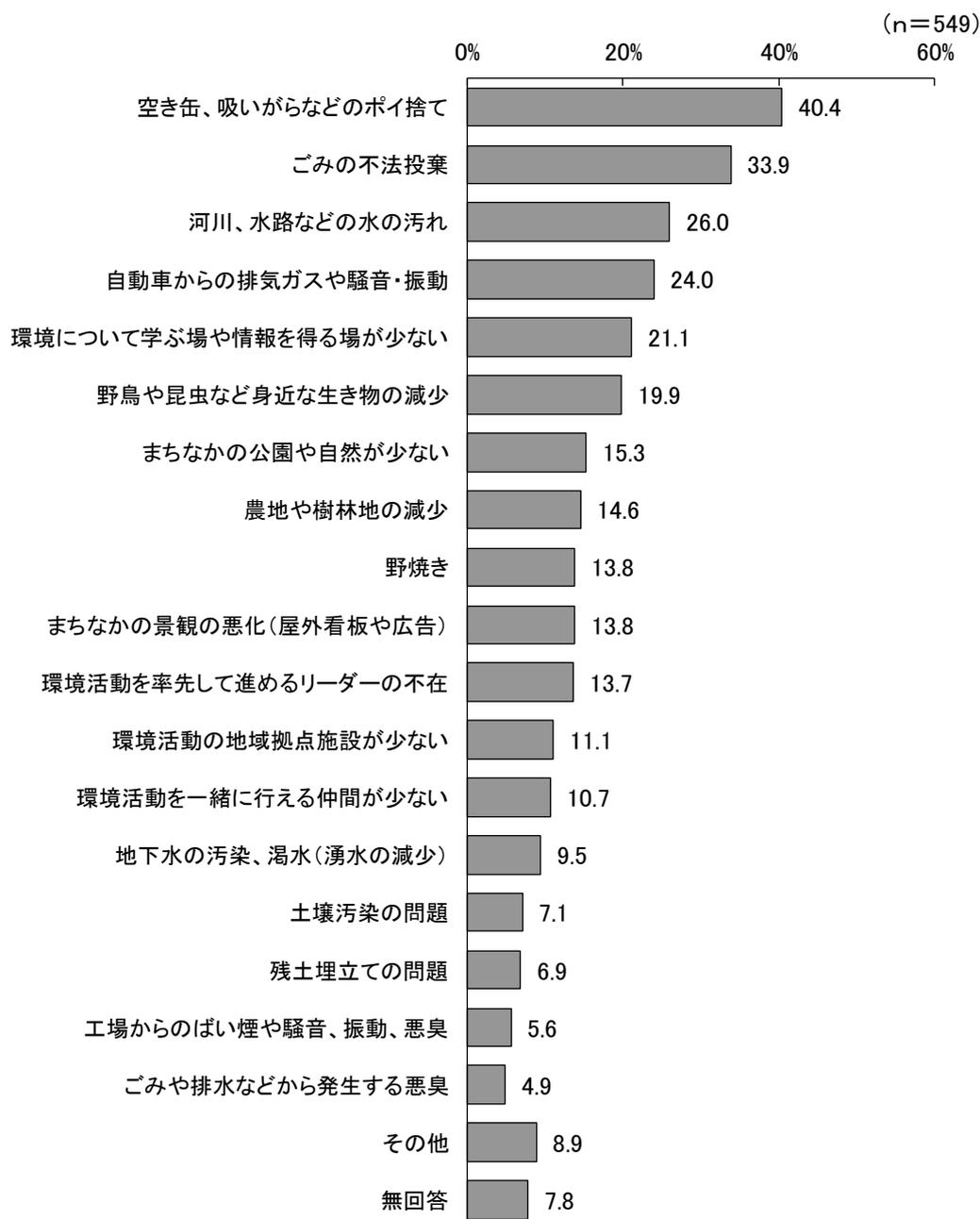
居住地区別で見ると、「地域での環境イベントの開催状況」に『満足（計）』と回答した割合は、佐倉、臼井、弥富で高くなっています。



## 2-2 地区の環境について、改善すべき・取り組むべき環境の課題

問7 あなたの住んでいる地区の環境について、改善すべき、また取り組むべき環境の課題は、どのようなものが考えられますか。あてはまる番号を全て○で囲んでください。

地区の環境について、改善すべき・取り組むべき環境の課題を聞いたところ、「空き缶、吸いがらなどのポイ捨て」が40.4%と最も高く、次いで、「ごみの不法投棄」(33.9%)、「河川、水路などの水の汚れ」(26.0%)となっている。



【地区の環境について、改善すべき・取り組むべき環境の課題／居住地区別】

居住地区別で見ると、「空き缶、吸いがらなどのポイ捨て」は、臼井、弥富、和田、千代田で比較的高く、「ごみの不法投棄」は根郷、弥富、和田、千代田で高くなっている。また、「河川・水路などの水の汚れ」は、佐倉、根郷、弥富で比較的高くなっている。

(%)

	n	空き缶、吸いがらなどのポイ捨て	ごみの不法投棄	河川、水路などの水の汚れ	自動車・騒音からの排気ガス	環境情報をつとめる場が少い	野生動物の減少	まちなかの公園や自然が少くない	農地や樹林地の減少	野焼き	まちなかの景観の悪化(屋外看板や広告)
全体	549	40.4	33.9	26.0	24.0	21.1	19.9	15.3	14.6	13.8	13.8
佐倉	150	38.0	33.3	33.3	20.0	18.7	18.0	18.7	12.7	12.0	15.3
志津	178	36.0	30.3	18.5	32.6	27.5	24.2	14.0	20.2	11.2	12.4
臼井	110	45.5	26.4	22.7	16.4	15.5	16.4	14.5	8.2	13.6	11.8
根郷	62	38.7	45.2	35.5	21.0	14.5	21.0	19.4	14.5	22.6	17.7
弥富	10	60.0	70.0	30.0	10.0	20.0	10.0	10.0	10.0	30.0	0.0
和田	9	66.7	66.7	22.2	22.2	44.4	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0
千代田	25	48.0	44.0	24.0	36.0	20.0	16.0	4.0	20.0	16.0	24.0

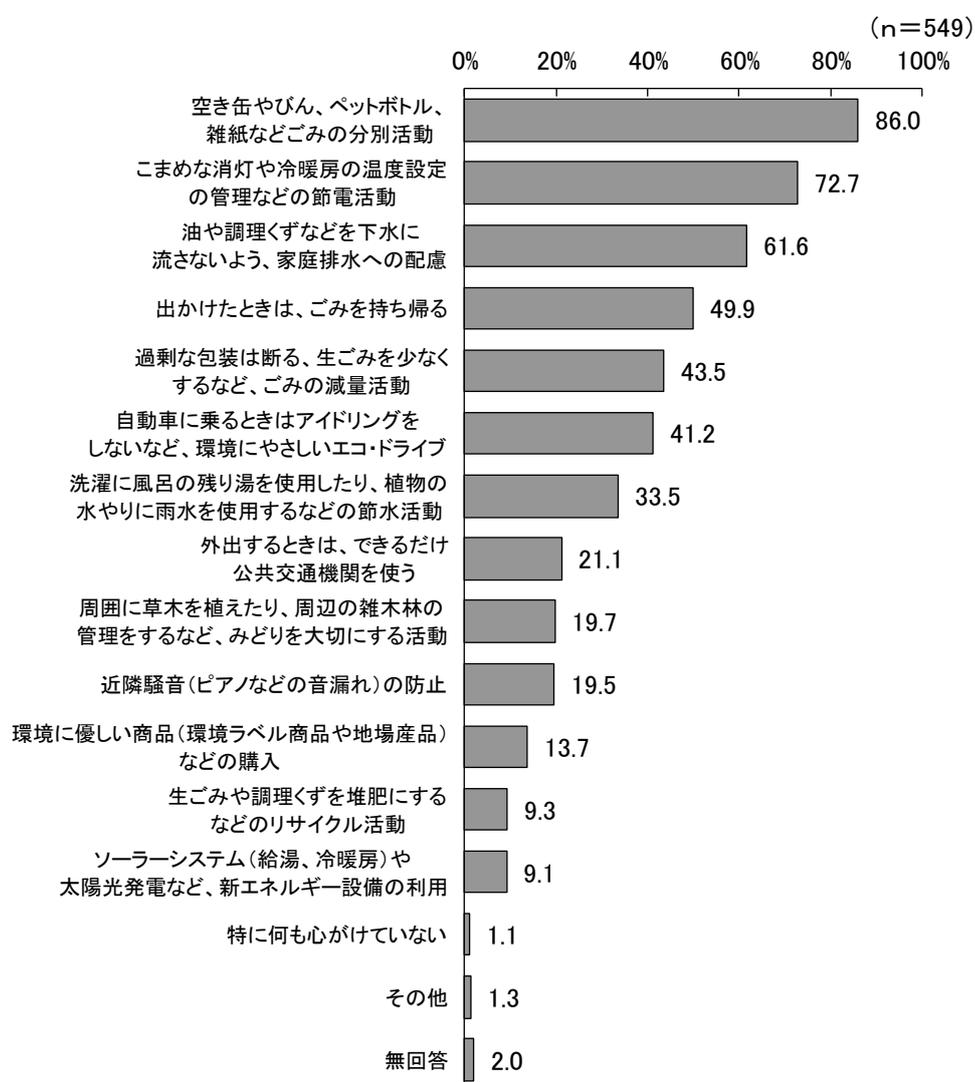
	n	環境活動の取り組み	環境活動の地域拠点施設が少ない	環境活動の仲間が少ない	(地下水の汚染、湧水の減少、濁水)	土壌汚染の問題	残土埋立ての問題	工場からのばい煙、騒音、振動、悪臭	ごみや排水などから発生する悪臭	その他	無回答
全体	549	13.7	11.1	10.7	9.5	7.1	6.9	5.6	4.9	8.9	7.8
佐倉	150	13.3	11.3	11.3	7.3	5.3	2.0	4.0	4.0	10.0	4.0
志津	178	14.6	11.2	10.1	6.7	4.5	6.2	6.2	3.4	7.3	8.4
臼井	110	12.7	11.8	9.1	9.1	9.1	9.1	1.8	9.1	11.8	12.7
根郷	62	8.1	4.8	4.8	12.9	11.3	4.8	17.7	4.8	8.1	6.5
弥富	10	10.0	0.0	0.0	30.0	30.0	30.0	0.0	10.0	0.0	0.0
和田	9	11.1	22.2	22.2	33.3	33.3	55.6	11.1	0.0	0.0	11.1
千代田	25	32.0	24.0	32.0	20.0	0.0	12.0	0.0	4.0	8.0	4.0

### 第3節 普段の環境活動について

#### 3-1 環境について、普段取り組んでいること

問8 環境に関して、普段あなたが取り組んでいることを教えてください。あてはまる番号を全て○で囲んでください。

環境について、普段取り組んでいることを聞いたところ、「空き缶やびん、ペットボトル、雑紙などごみの分別活動」が86.0%と最も高く、次いで、「こまめな消灯や冷暖房の温度設定の管理などの節電活動」(72.7%)、「油や調理くずなどを下水に流さないよう、家庭排水への配慮」(61.6%)となっている。

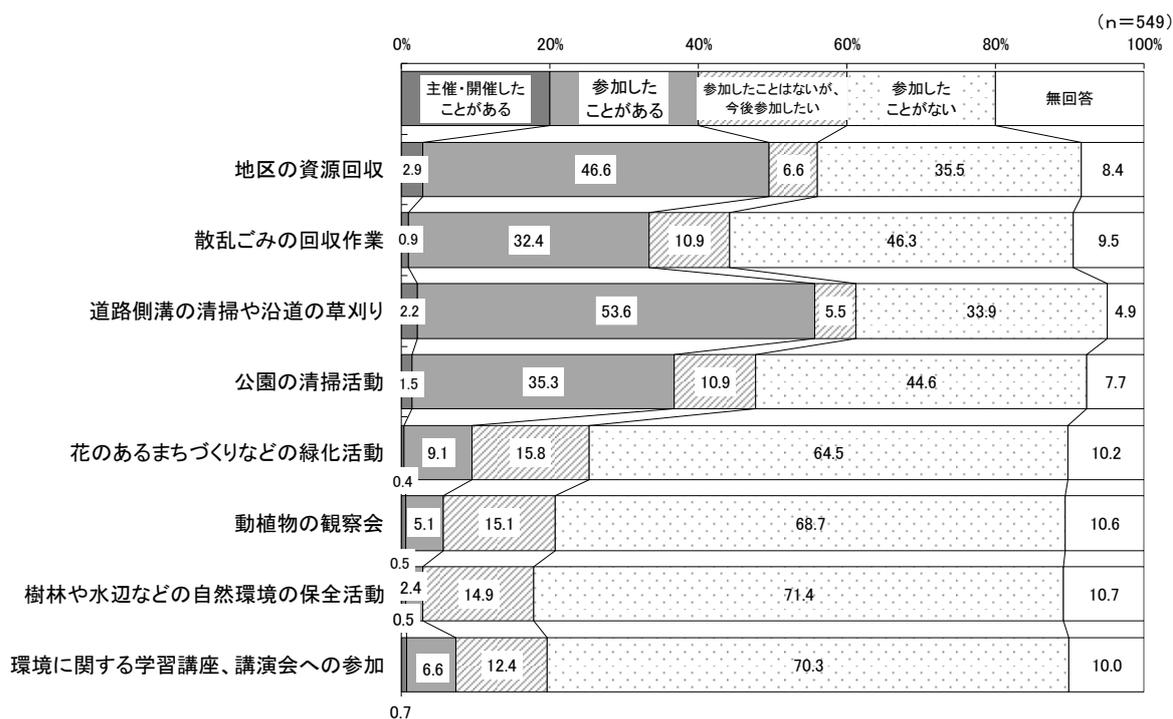


### 3-2 環境活動への参加状況

問9 あなたは、これまでに環境に係わる活動に参加したことがありますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1～4の中から1つだけ○で囲んでください。

環境活動への参加状況を聞いたところ、参加したことがある割合は、「道路側溝の清掃や沿道の草刈り」で53.6%、「地区の資源回収」で46.6%と高くなっている。

また、今後の参加意向は、「花のあるまちづくりなどの緑化活動」、「動植物の観察会」、「樹林や水辺などの自然環境の保全活動」で約15%となっている。

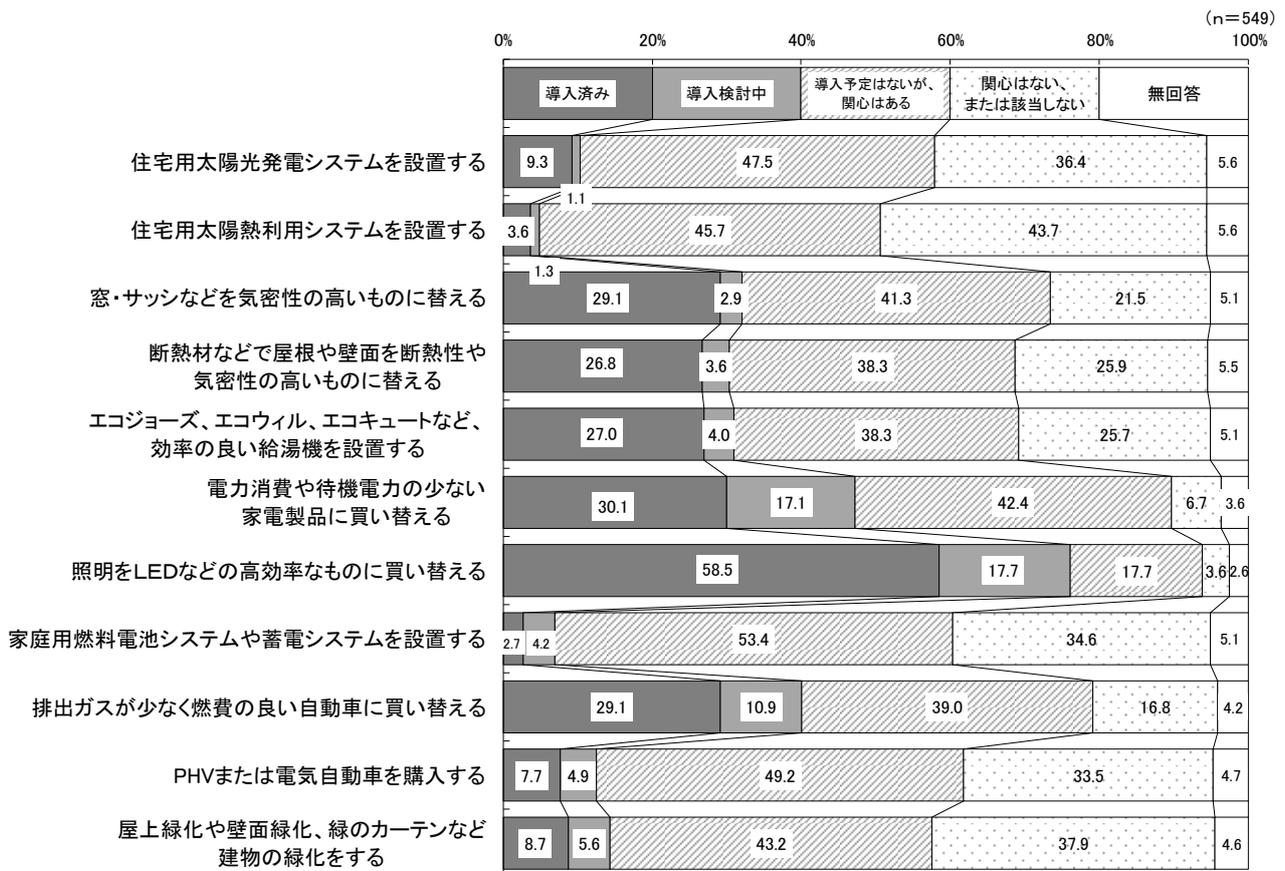


## 第4節 地球温暖化対策への取り組みについて

### 4-1 地球温暖化対策への取り組み状況

問 10 次の項目について、導入しているものはありますか。それぞれの項目について、あてはまる番号 1~4 の中から 1 つだけ○で囲んでください。

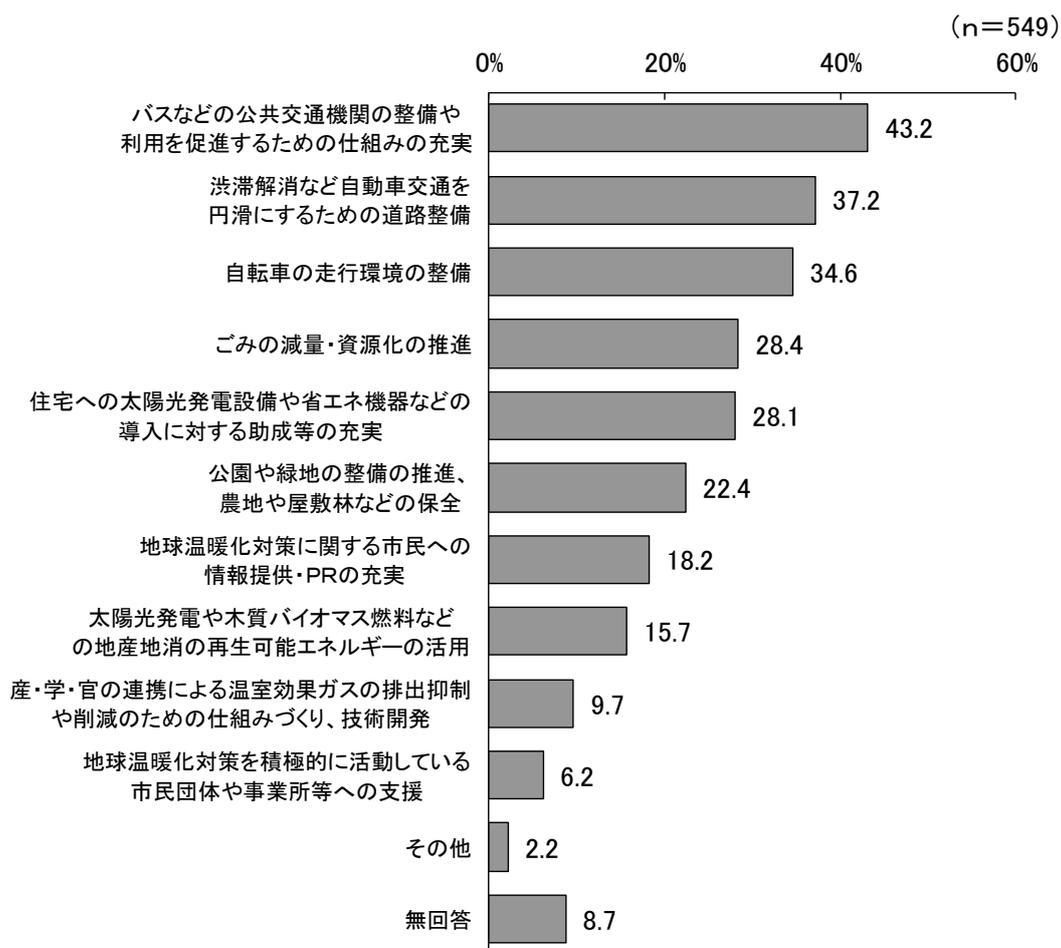
地球温暖化対策への取り組み状況を聞いたところ、導入済みと回答した割合は、「照明を LED などの高効率なものに買い替える」で 58.5%と最も高くなっている。



## 4-2 地球温暖化対策について、市が重点的に進めるべき施策

問 11 地球温暖化対策について、市が重点的に進めるべきだと思う施策はどれですか。あてはまる番号を3つまで○で囲んでください。

地球温暖化対策について、市が重点的に進めるべき施策を聞いたところ、「バスなどの公共交通機関の整備や利用を促進するための仕組みの充実」が43.2%と最も高く、次いで、「渋滞解消など自動車交通を円滑にするための道路整備」(37.2%)、「自転車の走行環境の整備」(34.6%)となっている。

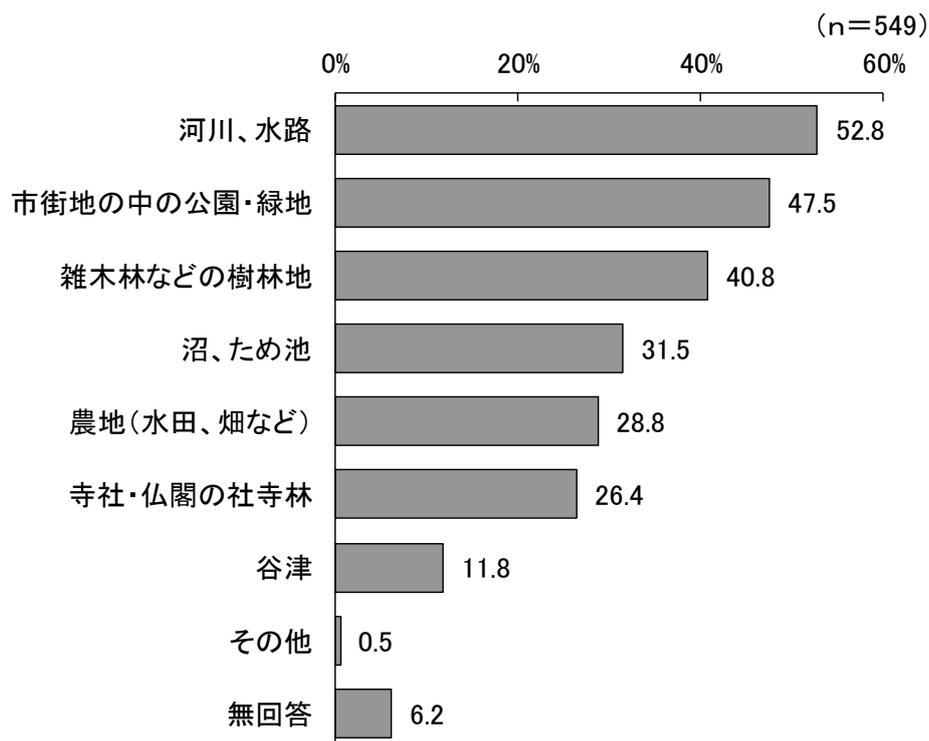


## 第5節 佐倉市の自然環境について

### 5-1 保全したほうがよい自然環境

問 12 佐倉市には、里山、農地、河川など様々な自然環境がありますが、あなたが特に保全したほうがよいと思う自然環境はどこですか？あてはまる番号を3つまで選んで、○で囲んで下さい。

保全したほうがよい自然環境を聞いたところ、「河川、水路」が52.8%と最も高く、次いで、「市街地の中の公園・緑地」(47.5%)、「雑木林などの樹林地」(40.8%)となっている。



## 5-2 特に保全したほうがよい自然環境（具体的に）

問 13 佐倉市のなかで、あなたが特に保全したほうがよいと思う自然環境の具体的な場所はどこですか？地名や施設名、その理由をご記入ください。

次に、市のなかで、特に保全したほうがよいと思う自然環境の具体的な場所、その理由を自由回答形式で聞いたところ、197人（35.9%）の方からの記入がありました。以下は記入内容を分類し表にまとめたものです。一人で複数の意見を記入している場合は、それぞれ1件として数えているため、延べ件数は337件となっています。

### 【保全したほうがよいと思う自然環境】

具体的な場所など	件数
印旛沼に係る場所	119
印旛沼	79
印旛沼周辺	21
印旛沼流入河川	19
佐倉城址公園・歴史博物館	26
雑木林・山林・竹林など	14
その他の公園	14
農地	11
畔田谷津	8
その他	51

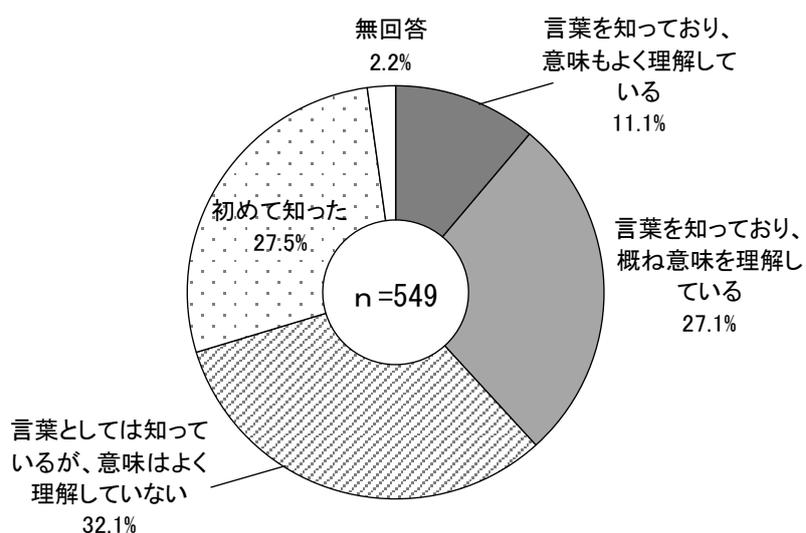
### 【保全したほうがよいと思う理由 主なもの】

場所	理由	件数
印旛沼に係る場所	水質が悪い、汚い、悪臭がするから	35
	外来種が増えているから、生物多様性の保全のため	34
	緑、自然環境、景観の保全のため	19
	ごみのポイ捨て、不法投棄	5
	観光資源であるから	3
佐倉城址公園・歴史博物館	緑、自然環境、景観の保全のため	10
	歴史のある場所だから	6
	観光資源であるから	4
雑木林・山林・竹林など	緑、自然環境、景観の保全のため	4
その他の公園	緑、自然環境、景観の保全のため	3
農地	緑、自然環境、景観の保全のため	3
畔田谷津	緑、自然環境、景観の保全のため	4

### 5-3 生物多様性の認知度

問 14 あなたは、生物多様性という言葉とその内容を知っていましたか。以下の1～4の項目のうち、あてはまる番号を1つだけ選んで、○で囲んでください。

生物多様性の認知度を聞いたところ、『内容を理解している（計）』と回答した割合が38.3%となっている。

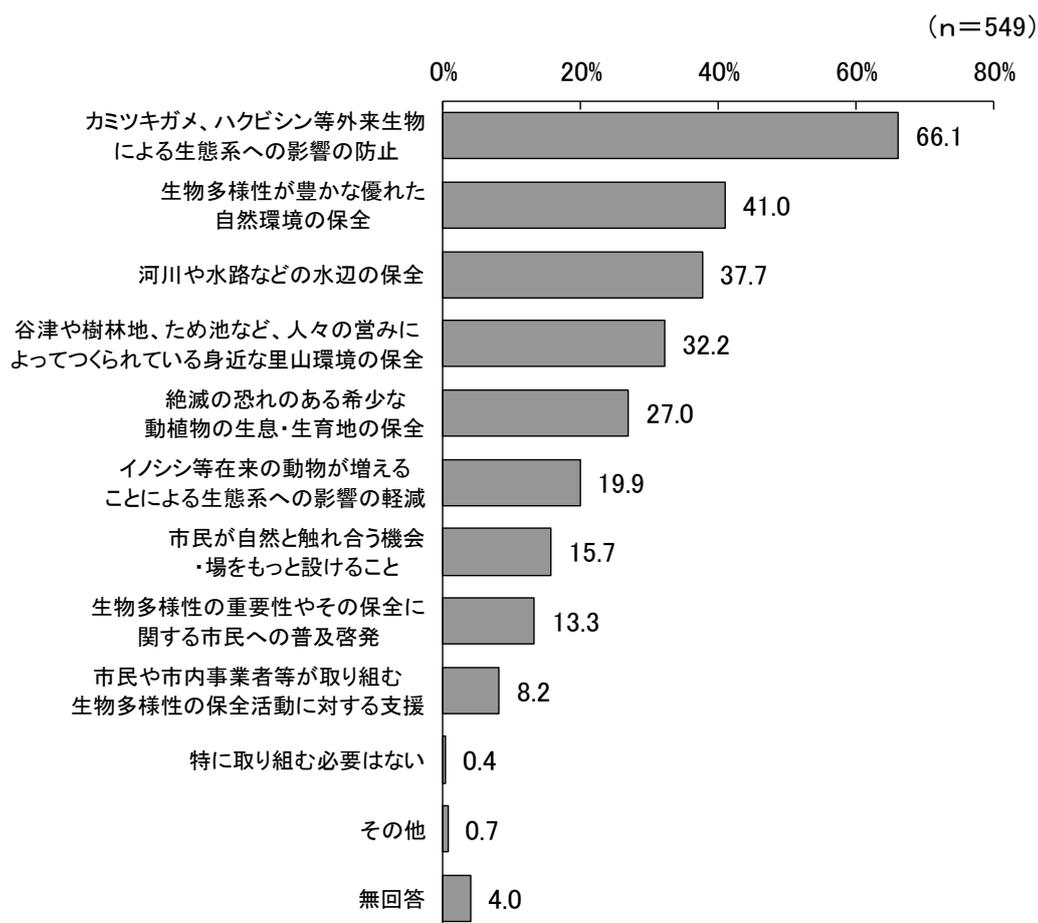


『内容を理解している（計）』（38.3%）：「言葉を知っており、意味もよく理解している」（11.1%）、  
「言葉を知っており、概ね意味を理解している」（27.1%）  
『知らない』（27.5%）：「初めて知った」（27.5%）

## 5-4 生物多様性を守るために重要なこと

問 15 あなたは、生物多様性を守っていくためには、どのようなことが重要だと考えますか。  
あてはまる番号を3つまで選んで、○で囲んで下さい。

生物多様性を守るために重要なことを聞いたところ、「カミツキガメ、ハクビシン等外来生物による生態系への影響の防止」が66.1%と最も高く、次いで、「生物多様性が豊かな優れた自然環境の保全」(41.0%)、「河川や水路などの水辺の保全」(37.7%)となっている。

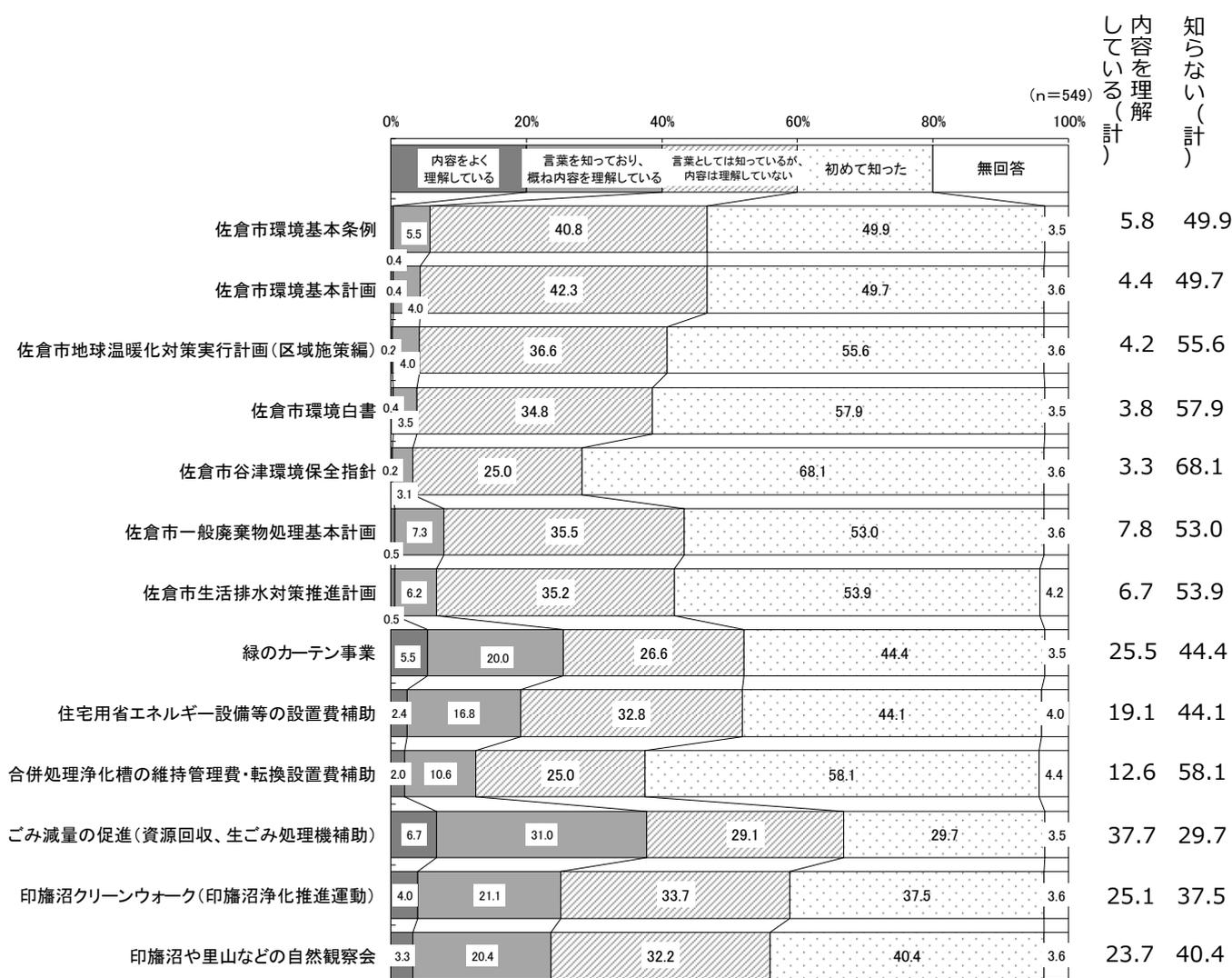


## 第6節 市の環境への主な取り組みについて

### 6-1 市の環境施策の認知度

問 16 以下の項目は、現在、佐倉市が進めている環境に関する主な取り組みです。それぞれの項目について、あてはまる番号を1～4の中から1つだけ○で囲んでください。

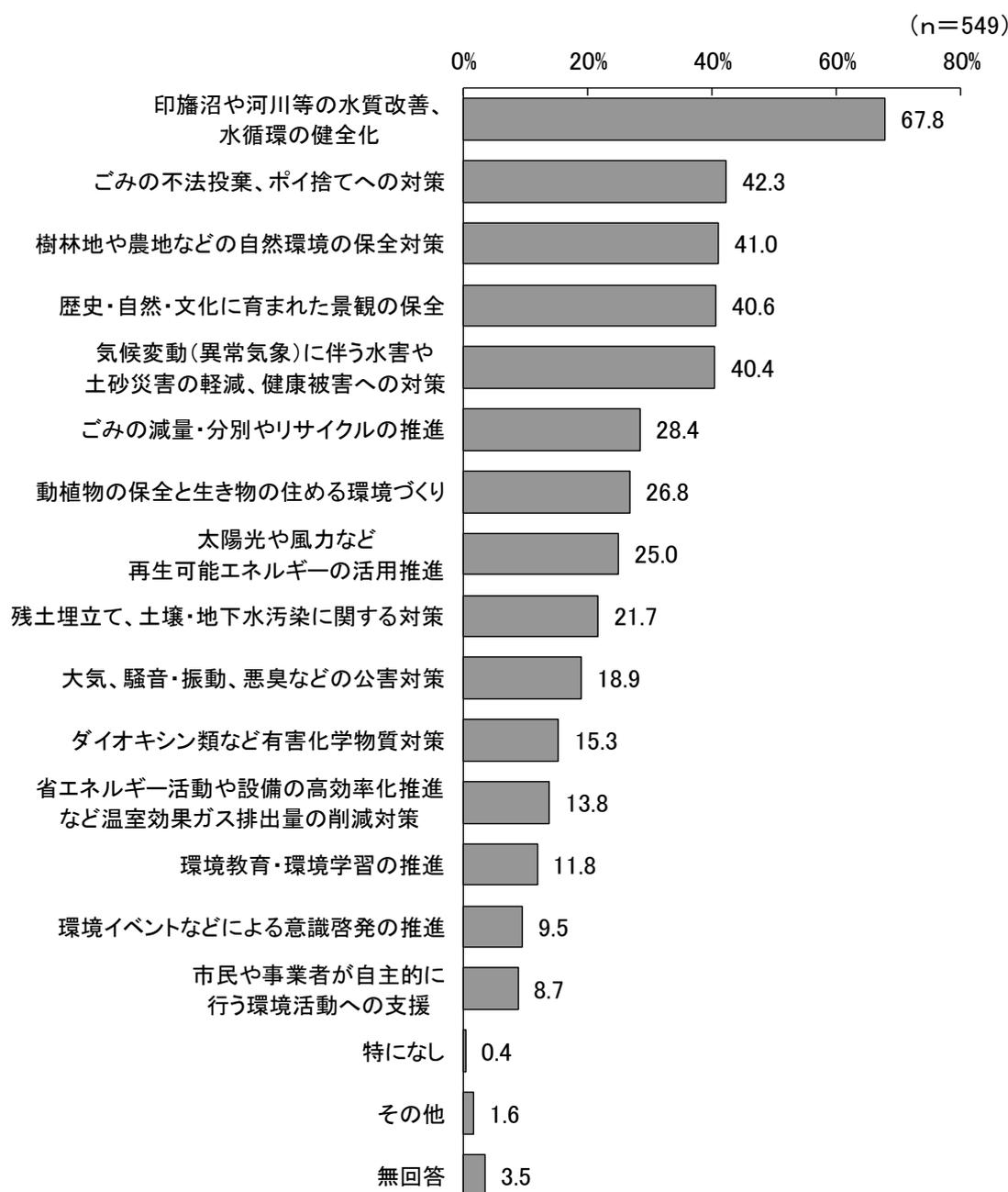
市の環境施策の認知度を聞いたところ、『内容を理解している（計）』と回答した割合は、「ごみ減量の促進（資源回収、生ごみ処理機補助）」（37.7%）、「緑のカーテン事業」（25.5%）、「印旛沼クリーンウォーク（印旛沼浄化推進運動）」（25.1%）、「印旛沼や里山などの自然観察会」（23.7%）で比較的高くなっている。



## 6-2 市が重点的に取り組むべき環境対策

問 17 佐倉市が取り組む環境への対策について、市が重点的に進めるべきだと思うものはどれですか。あてはまる番号を5つまで○で囲んで下さい。

市が重点的に取り組むべき環境対策を聞いたところ、「印旛沼や河川等の水質改善、水循環の健全化」が67.8%と最も高く、次いで、「ごみの不法投棄、ポイ捨てへの対策」(42.3%)、「樹林地や農地などの自然環境の保全対策」(41.0%)、「歴史・自然・文化に育まれた景観の保全」(40.6%)、「気候変動(異常気象)に伴う水害や土砂災害の軽減、健康被害への対策」(40.4%)となっている。



## 第6節 自由回答

最後に、環境に関わるご意見等があれば、ご自由にお書き下さい。

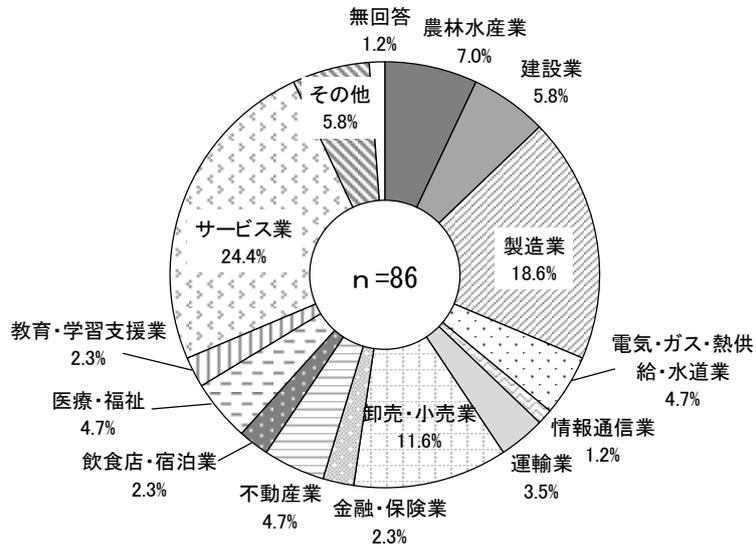
最後に、環境に意見等を自由記入形式で求めたところ、123人（22.4%）の方からの記入がありました。以下は記入内容を分類し表にまとめたものです。一人で複数の意見を記入している場合は、それぞれ1件として数えているため、延べ件数は173件となりました。

分類	件数
ポイ捨て、まちの美化	26
自然環境、河川・水辺の保全	25
公害対策	21
まちなみ・景観、空き地・空き家	16
市内の緑化、公園の整備	12
ごみ減量、リサイクルについて	11
市からの情報提供	11
生物多様性の保全	9
環境教育・学習、環境活動	8
公共交通、自転車の利用	4
水循環の保全	4
エネルギー対策、温暖化対策	3
その他	13
アンケートについて	10

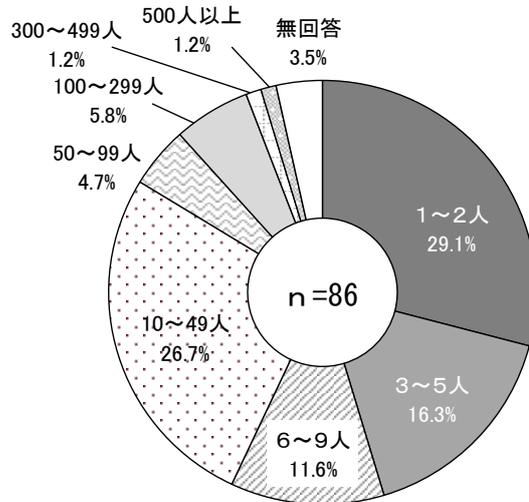
### 第3章 事業所アンケート調査の結果

#### 第1節 事業所について

##### 1-1 業種



##### 1-2 従業員規模

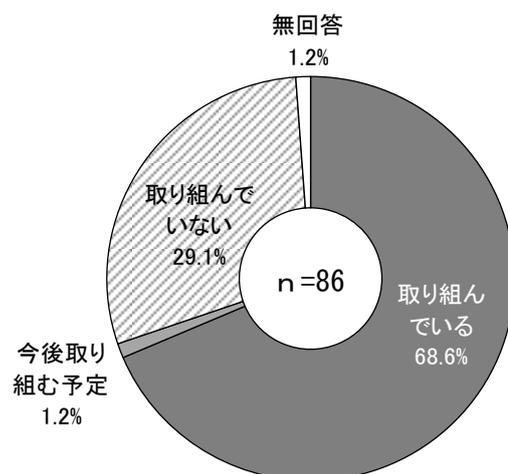


## 第2節 事業所の環境活動について

### 2-1 環境配慮活動への取り組み状況

問3 貴事業所では、日常業務の中で、環境配慮のための活動に取り組んでいますか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

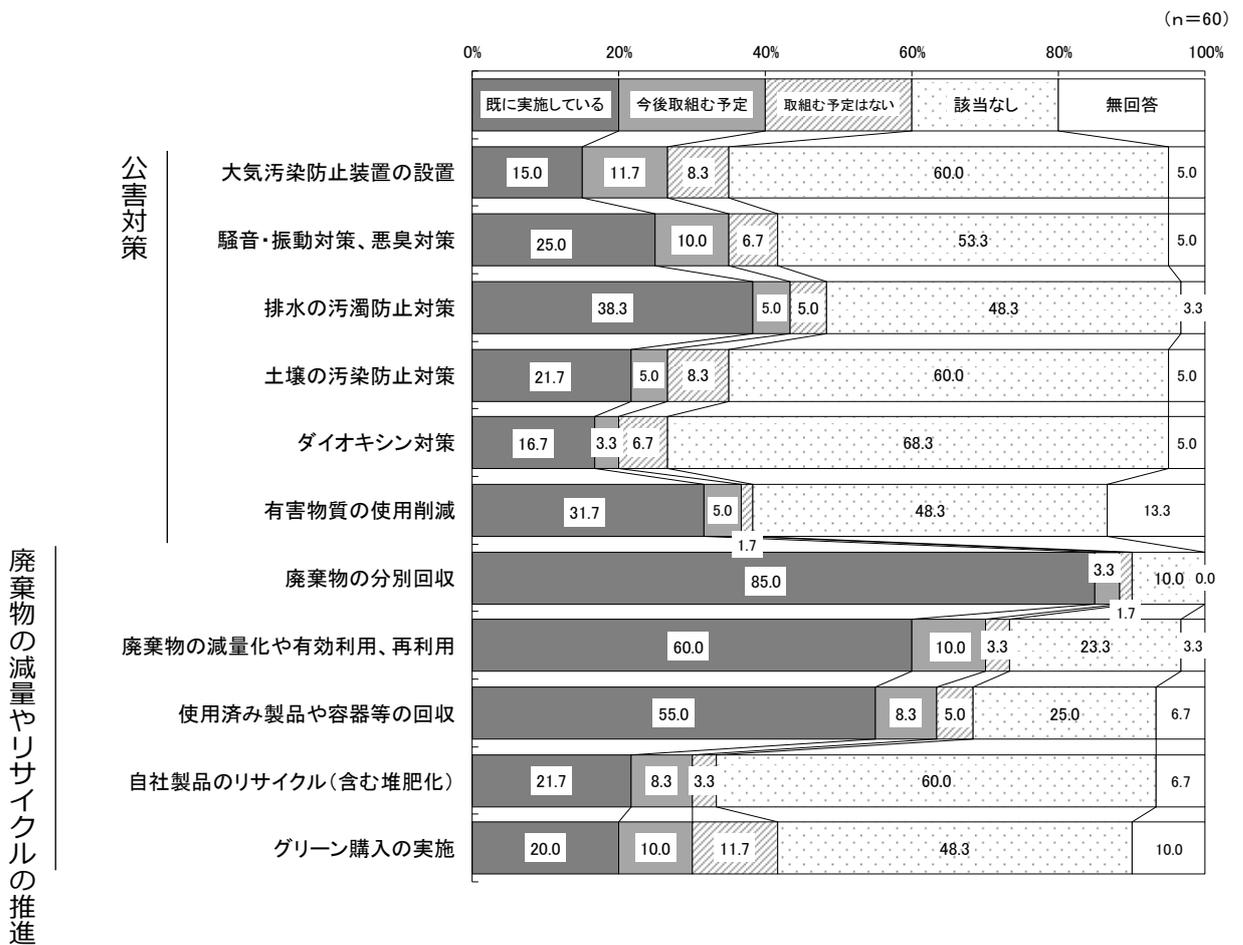
環境配慮活動への取り組み状況について聞いたところ、「取り組んでいる」が68.6%となっている。



## 2-2 環境配慮活動の実施状況

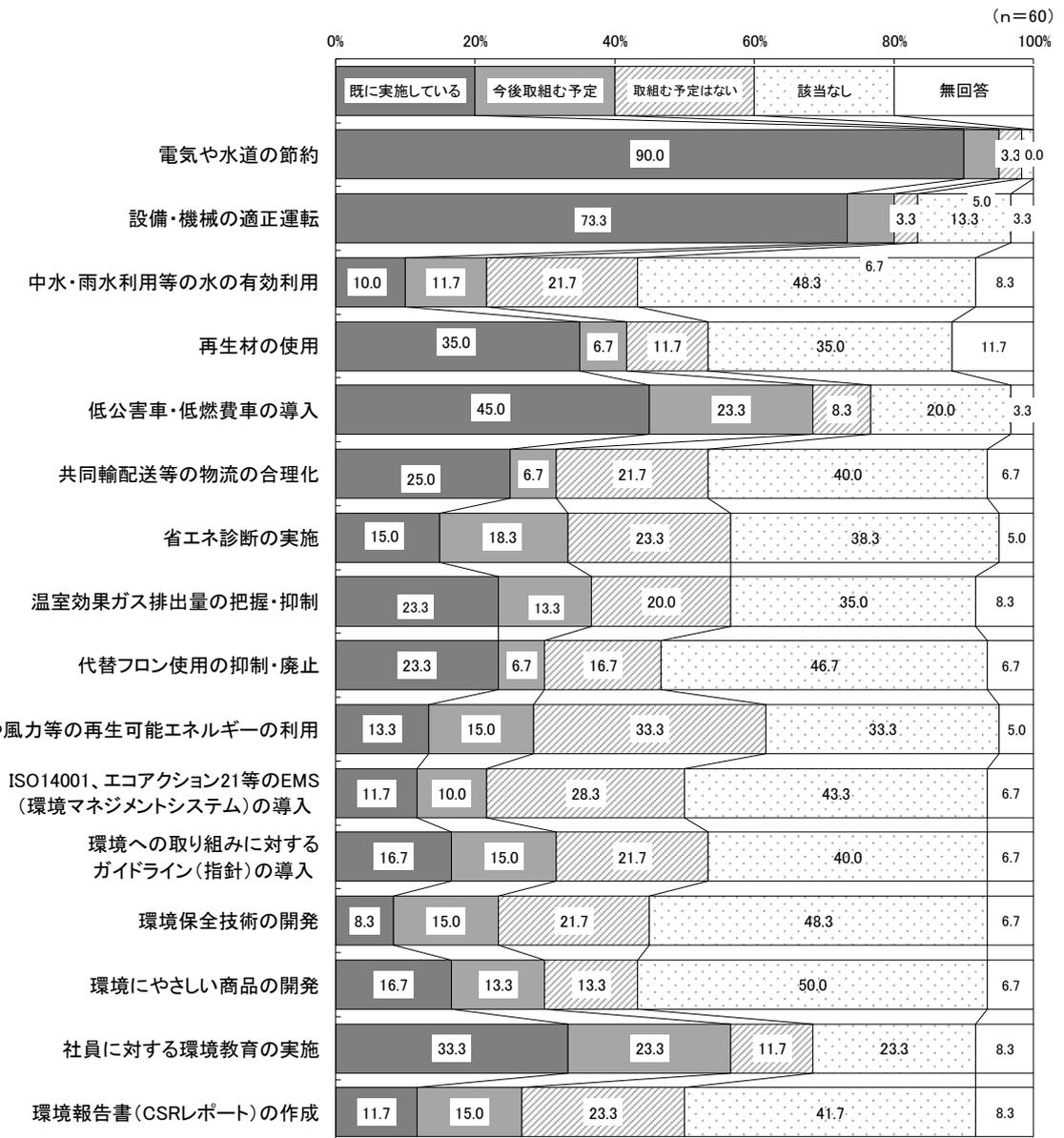
(問3で、「1. 取り組んでいる」、「2. 今後取り組む予定」と回答した方に)  
 問4 貴事業所では、日常業務の中で、どのような環境配慮のための活動を実施していますか。  
 それぞれの項目について、あてはまる番号1~4の中から1つだけ○で囲んでください。

問3で、「取り組んでいる」、「今後取り組む予定」と回答した事業所に、環境配慮活動の実施状況を聞いたところ、既に実施していると回答した割合は、「電気や水道の節約」で90.0%と最も高く、次いで、「廃棄物の分別回収」(85.0%)、「設備・機械の適正運転」(73.3%)、「廃棄物の減量化や有効利用、再利用」(60.0%)となっている。



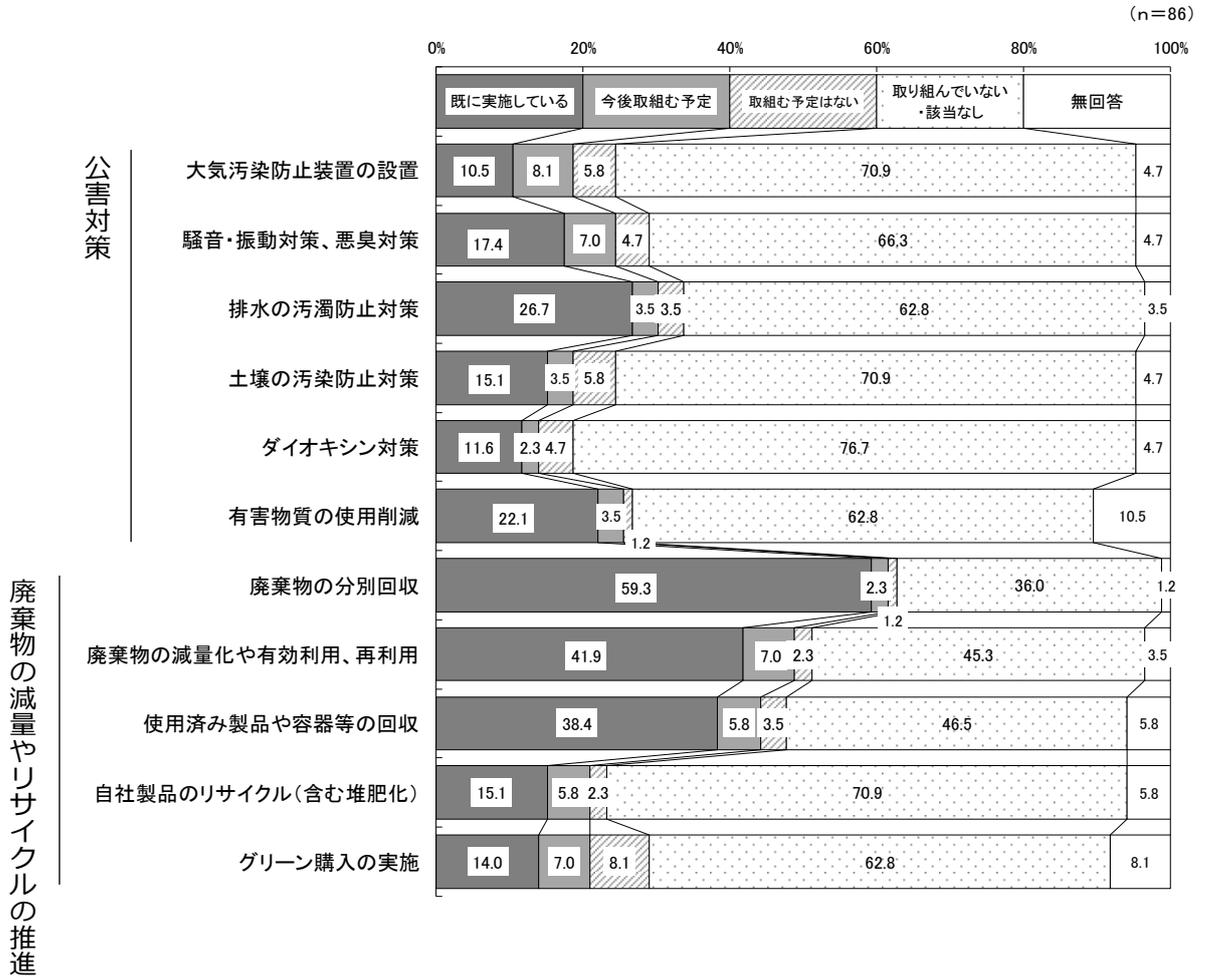
省エネルギー・省資源、地球温暖化対策

環境マネジメントシステムや製品開発



【環境配慮活動の実施状況】

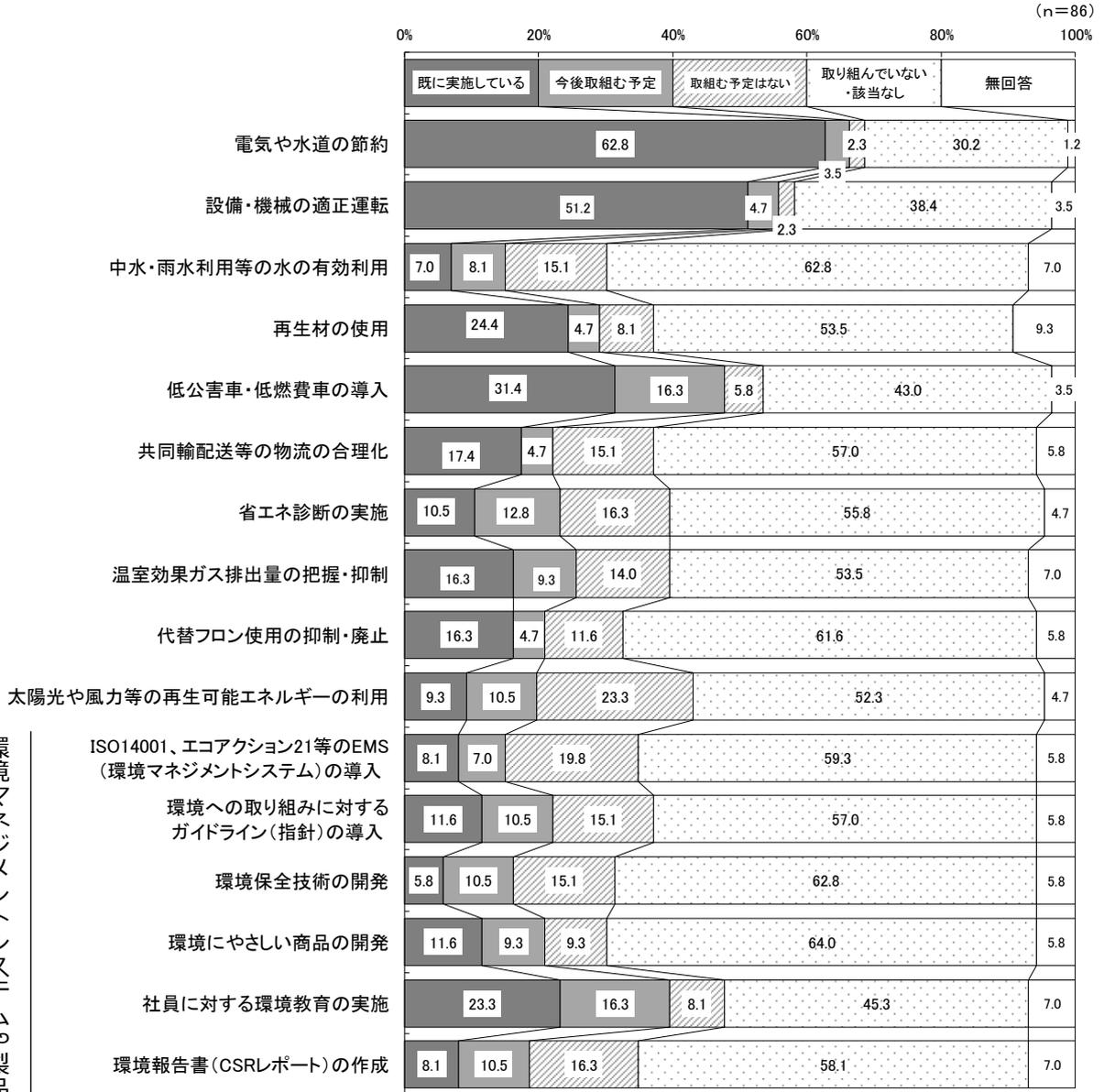
参考：問3で「取り組んでいない」と回答した事業所も含め（分母はn=86）集計した場合



注：「取り組んでいない・該当なし」は、問3で「取り組んでいない」と問4で「該当なし」と回答した事業所を合わせた割合。

省エネルギー・省資源、地球温暖化対策

環境マネジメントシステムや製品開発

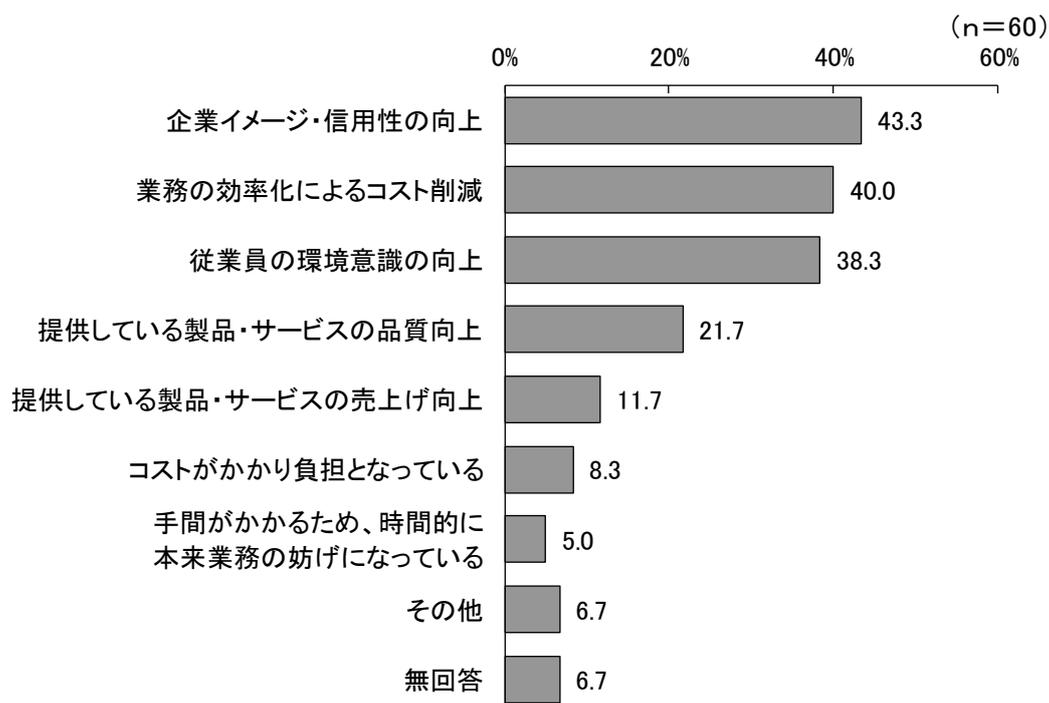


## 2-3 環境活動に取り組んだ効果

(問3で、「1. 取り組んでいる」、「2. 今後取り組む予定」と回答した方に)

問5 貴事業所において、環境活動に取り組んだことで得られた効果は何ですか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

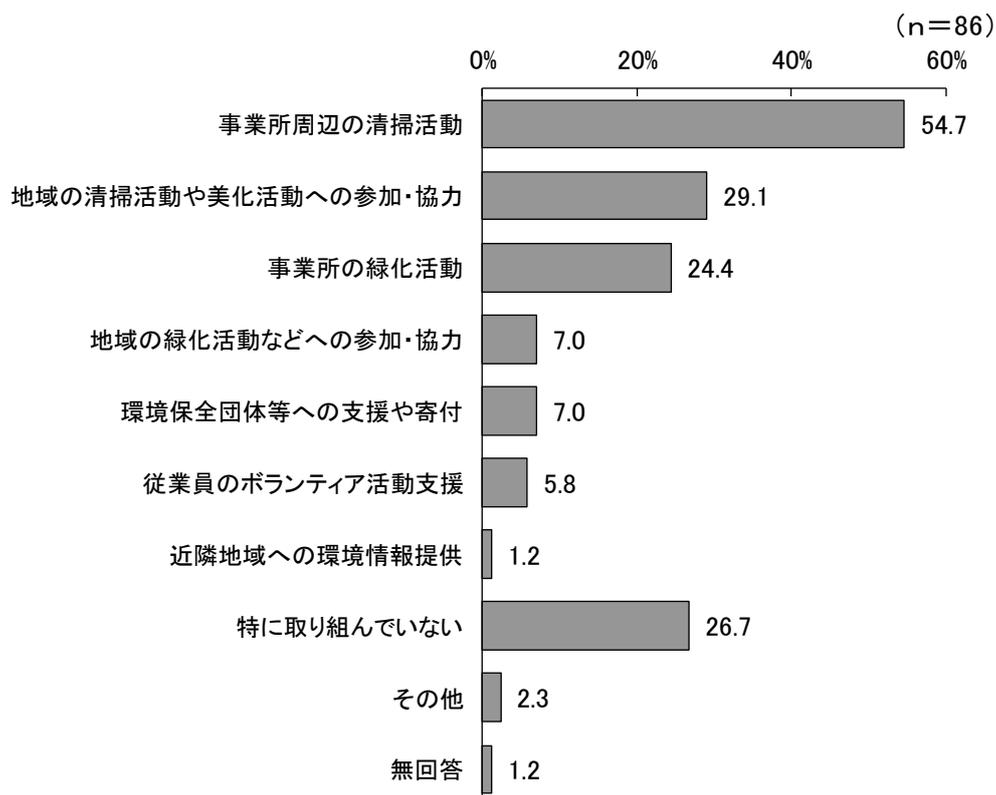
問3で、「取り組んでいる」、「今後取り組む予定」と回答した事業所に、環境活動に取り組んだ効果を聞いたところ、「企業イメージ・信用性の向上」が43.3%と最も高く、次いで、「業務の効率化によるコスト削減」(40.0%)、「従業員の環境意識の向上」(38.3%)となっている。



## 2-4 地域の環境のためにやっている取り組み

問6 貴事業所では、地域社会の一員として、地域の環境のためにどのような取り組みをしていますか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

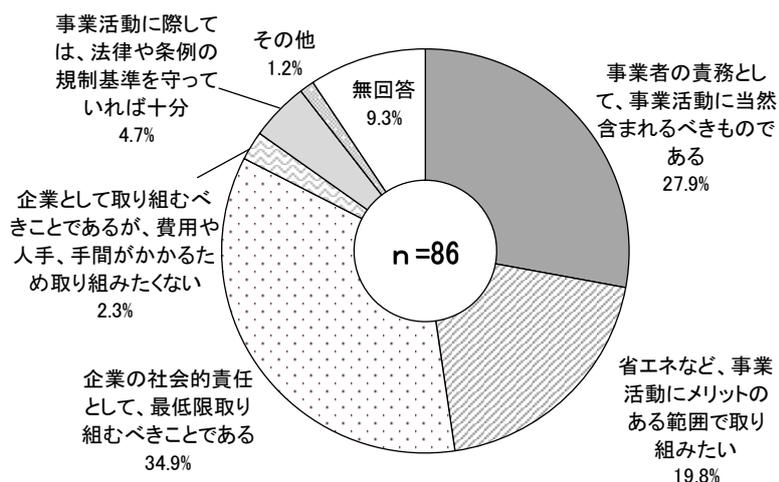
地域の環境のためにやっている取り組みを聞いたところ、「事業所周辺の清掃活動」が54.7%と最も高く、次いで、「地域の清掃活動や美化活動への参加・協力」(29.1%)、「事業所の緑化活動」(24.4%)となっている。



## 2-5 環境活動に取り組む意義

問7 貴事業所では、環境活動に取り組む意義について、どのようにお考えですか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

環境活動に取り組む意義について聞いたところ、「企業の社会的責任として、最低限取り組むべきことである」が34.9%と最も高く、次いで、「事業者の責務として、事業活動に当然含まれるべきものである」(27.9%)、「省エネなど、事業活動にメリットのある範囲で取り組みたい」(19.8%)となっている。

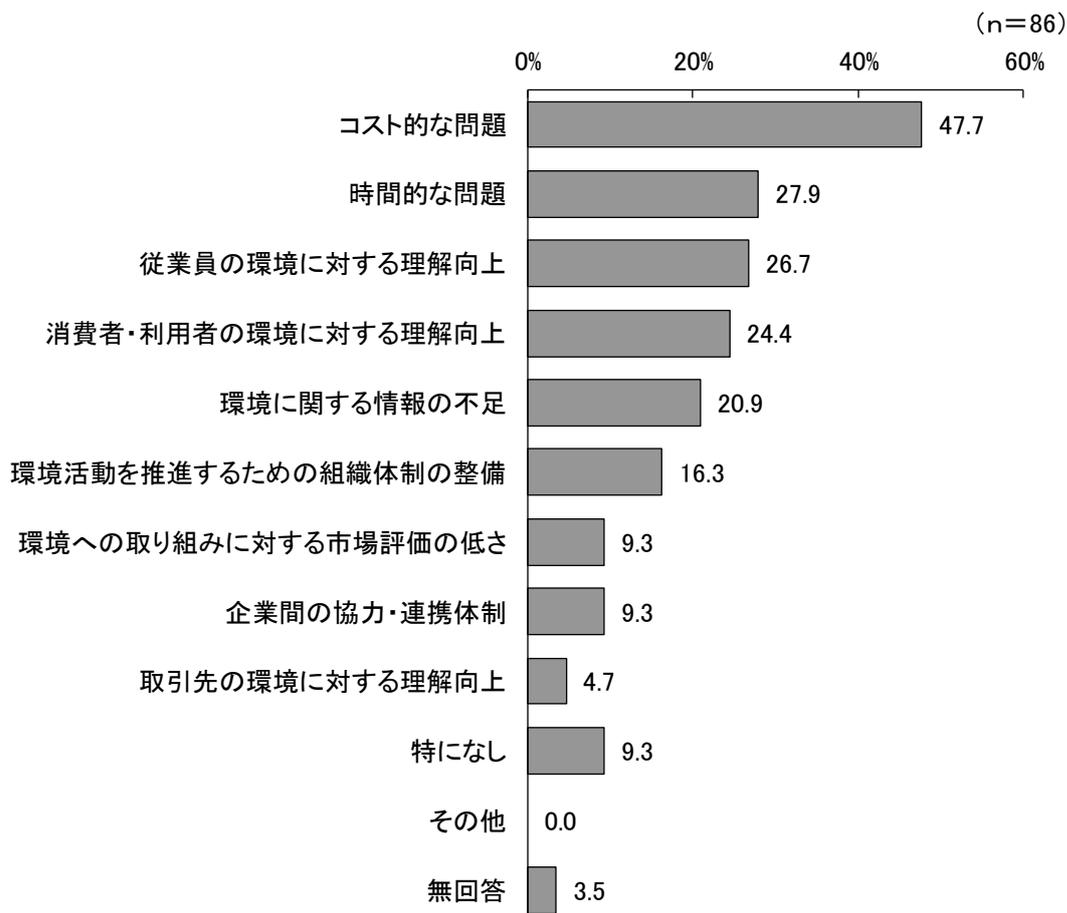


注：「新規ビジネスのチャンスにつながることから、もっと積極的に取り組みたい」、「環境活動に取り組む必要はない（事業者は事業活動を重視すべき）」の回答割合は、0.0%のため省略。

## 2-6 環境活動を進めるにあたっての課題

問8 貴事業所において、環境活動を進めるにあたり、どのようなことが課題であるとお考えですか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

環境活動を進めるにあたっての課題を聞いたところ、「コスト的な問題」が47.7%と最も高く、次いで、「時間的な問題」(27.9%)、「従業員の環境に対する理解向上」(26.7%)、「消費者・利用者の環境に対する理解向上」(24.4%)となっている。

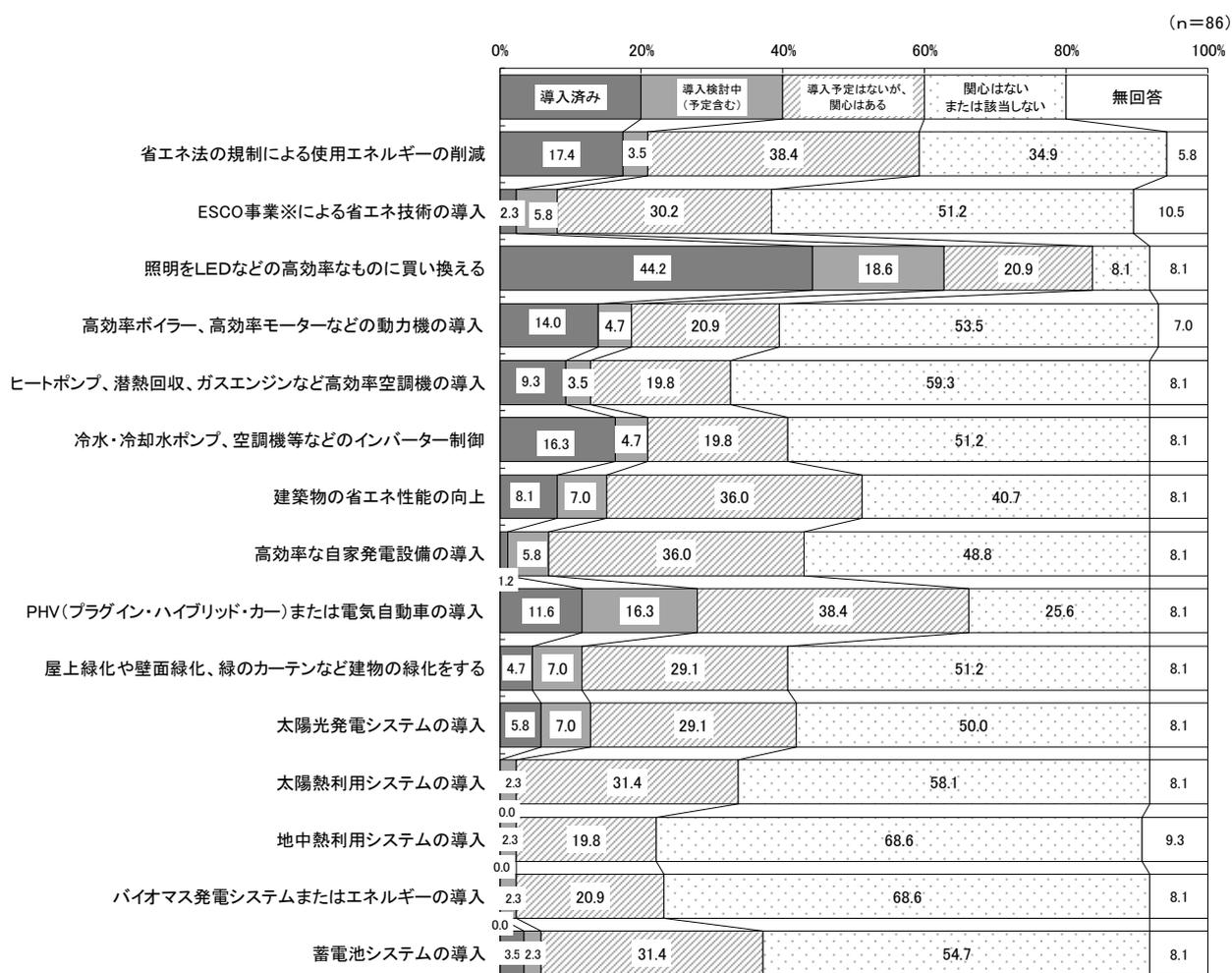


### 第3節 事業所の地球温暖化対策への取り組みについて

#### 3-1 地球温暖化対策への取り組み状況

問9 次の項目について、導入しているものはありますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1~4の中から1つだけ○で囲んでください。

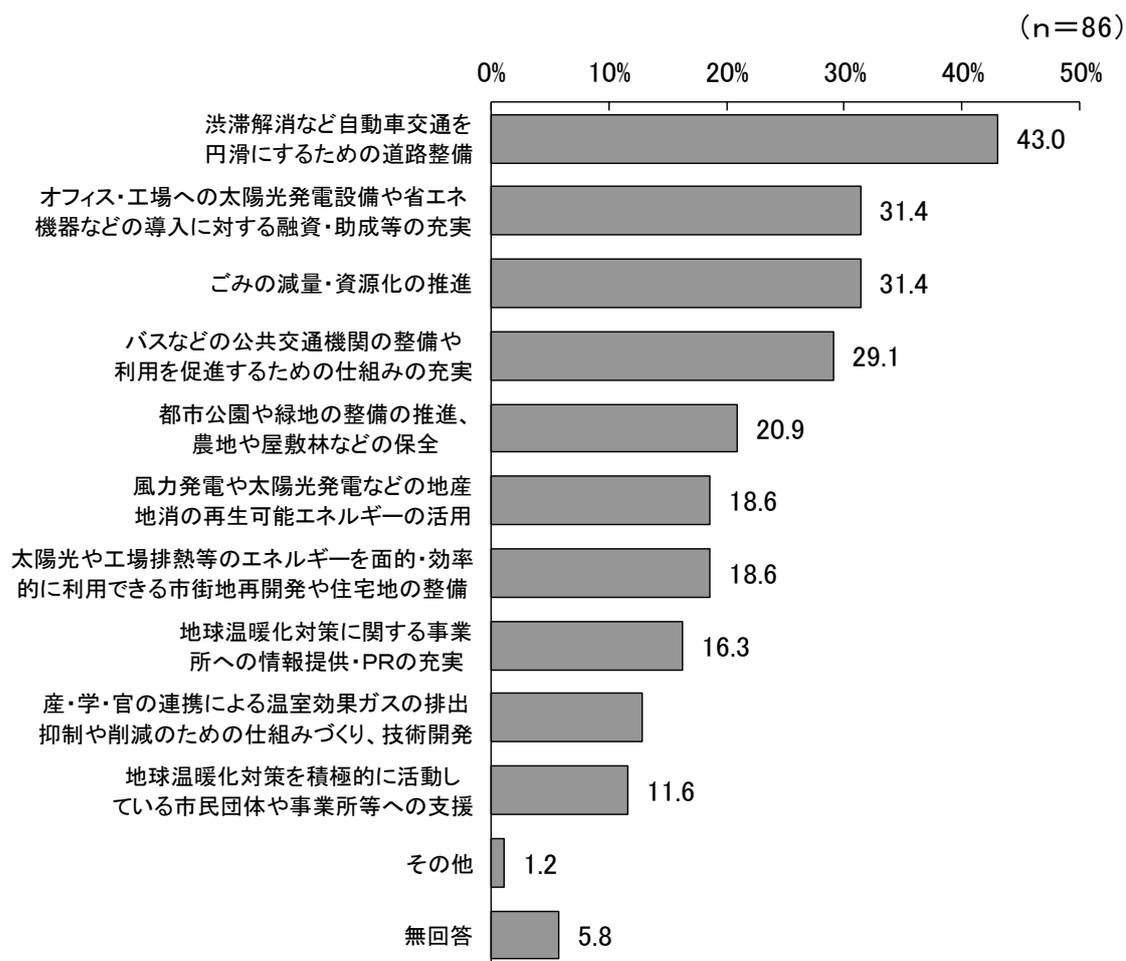
地球温暖化対策への取り組み状況を聞いたところ、導入済みと回答した割合は、「照明をLEDなどの高効率なものに買い替える」で44.2%と最も高くなっている。



### 3-2 地球温暖化対策について、市が重点的に進めるべきだと思う施策

問 10 地球温暖化対策について、市が重点的に進めるべきだと思う施策はどれですか。あてはまる番号を3つまで○で囲んでください。

地球温暖化対策について、市が重点的に進めるべきだと思う施策を聞いたところ、「渋滞解消など自動車交通を円滑にするための道路整備」が43.0%と最も高く、次いで、「オフィス・工場への太陽光発電設備や省エネ機器などの導入に対する融資・助成等の充実」と「ごみの減量・資源化の推進」が31.4%となっている。

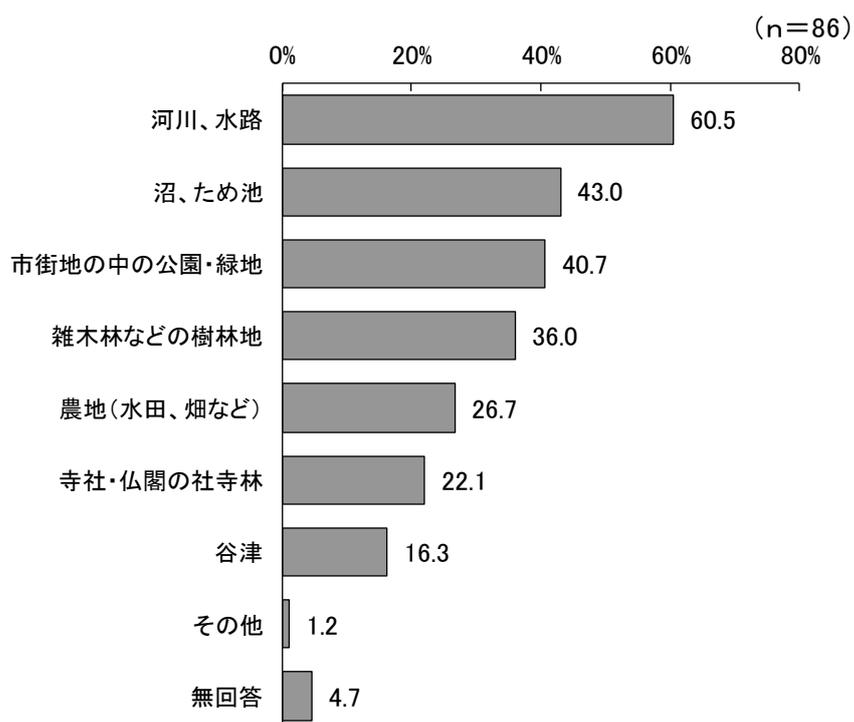


## 第4節 佐倉市の自然環境について

### 4-1 保全したほうがよいと思う自然環境

問 11 佐倉市には、里山、農地、河川など様々な自然環境がありますが、貴事業所が特に保全したほうがよいと思う自然環境はどこですか？あてはまる番号を3つまで選んで、○で囲んで下さい。

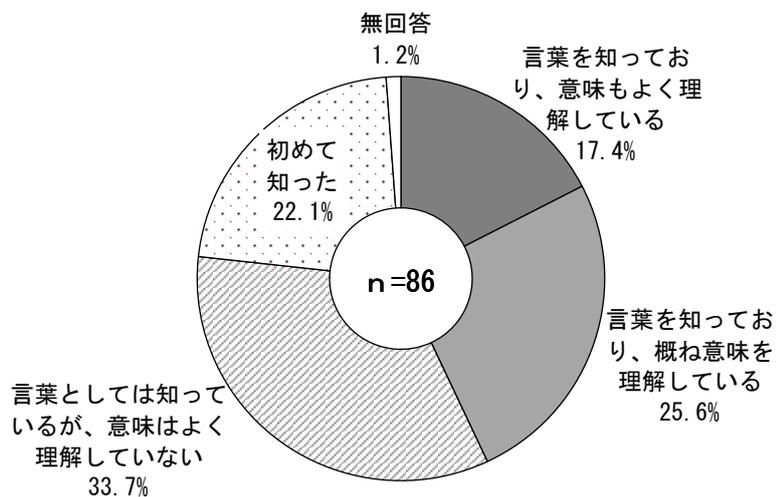
保全したほうがよいと思う自然環境を聞いたところ、「河川、水路」が60.5%と最も高く、次いで、「沼、ため池」(43.0%)、「市街地の中の公園・緑地」(40.7%)となっている。



## 4-2 生物多様性の認知度

問 12 貴事業所では、生物多様性という言葉とその内容を知っていましたか。以下の1～4の項目のうち、あてはまる番号を1つだけ選んで、○で囲んでください。

生物多様性の認知度を聞いたところ、『内容を理解している（計）』の割合は、43.0%となっている。

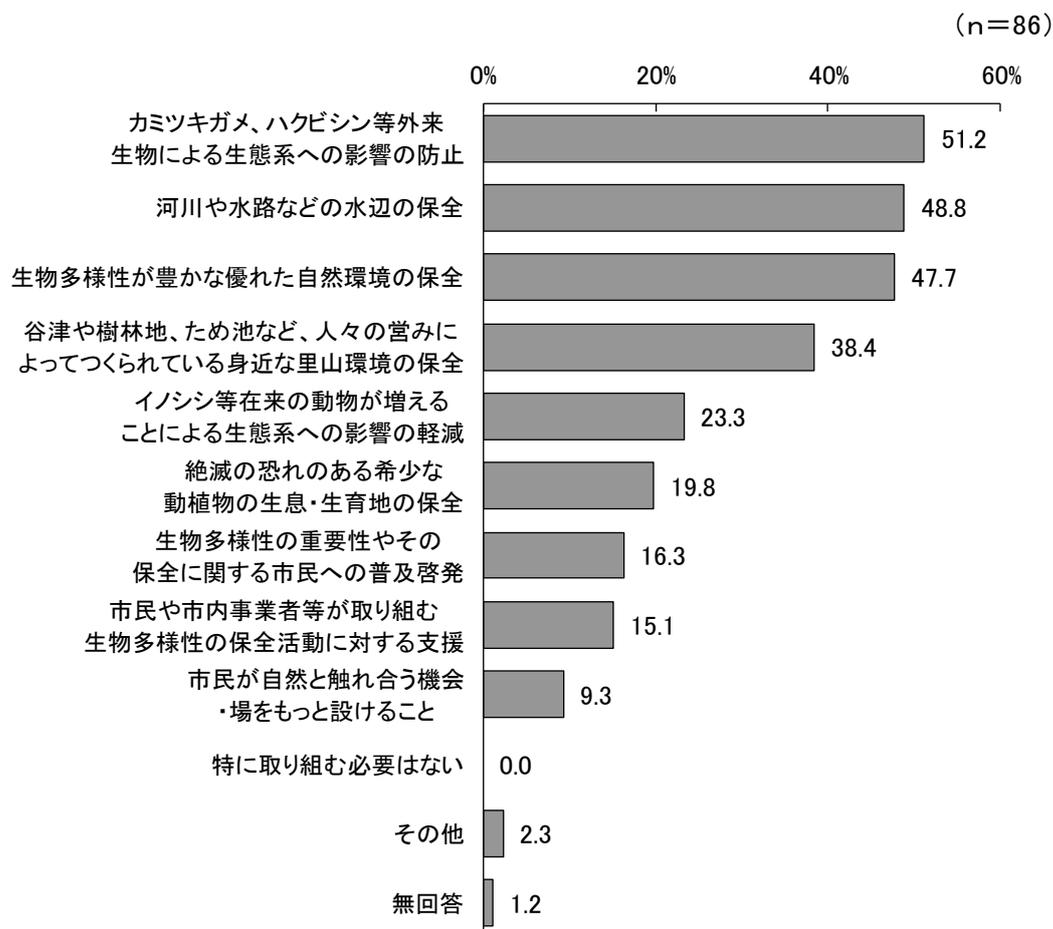


『内容を理解している（計）』（43.0%）：「言葉を知っており、意味もよく理解している」（17.4%）、  
「言葉を知っており、概ね意味を理解している」（25.6%）  
『知らない』（22.1%）：「初めて知った」（22.1%）

### 4-3 生物多様性を守るために重要なこと

問 13 貴事業所では、生物多様性を守っていくためには、どのようなことが重要だと考えますか。あてはまる番号を3つまで選んで、○で囲んで下さい。

生物多様性を守るために重要なことを聞いたところ、「カミツキガメ、ハクビシン等外来生物による生態系への影響の防止」が51.2%と最も高く、次いで、「河川や水路などの水辺の保全」(48.8%)、「生物多様性が豊かな優れた自然環境の保全」(47.7%)となっている。

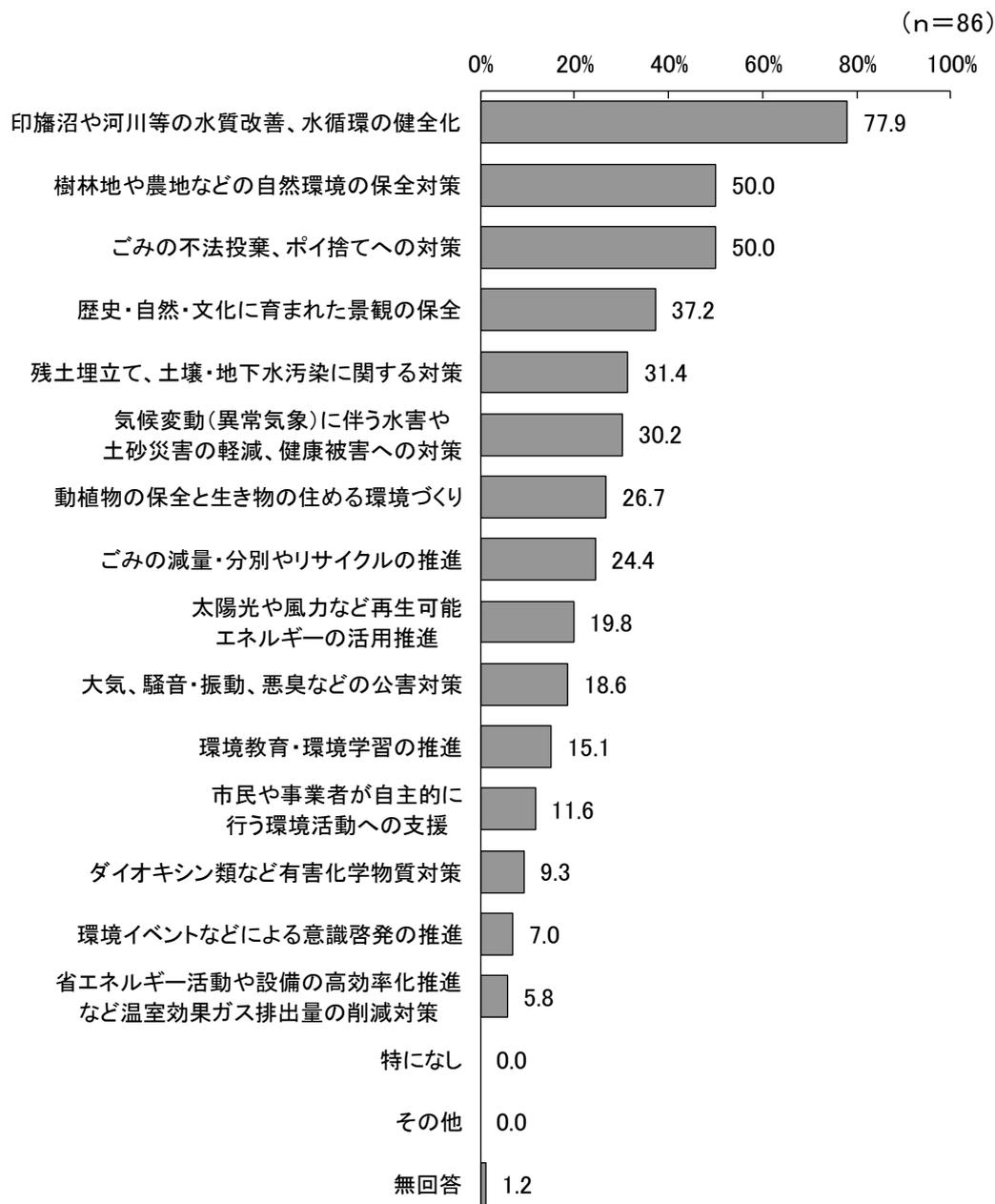


## 第5節 佐倉市の環境・市政について

### 5-1 市が重点的に取り組むべき環境対策

問 14 佐倉市が取り組むべき環境への対策について、市が重点的に進めるべきだと思うものはどれですか。あてはまる番号を5つまで○で囲んでください。

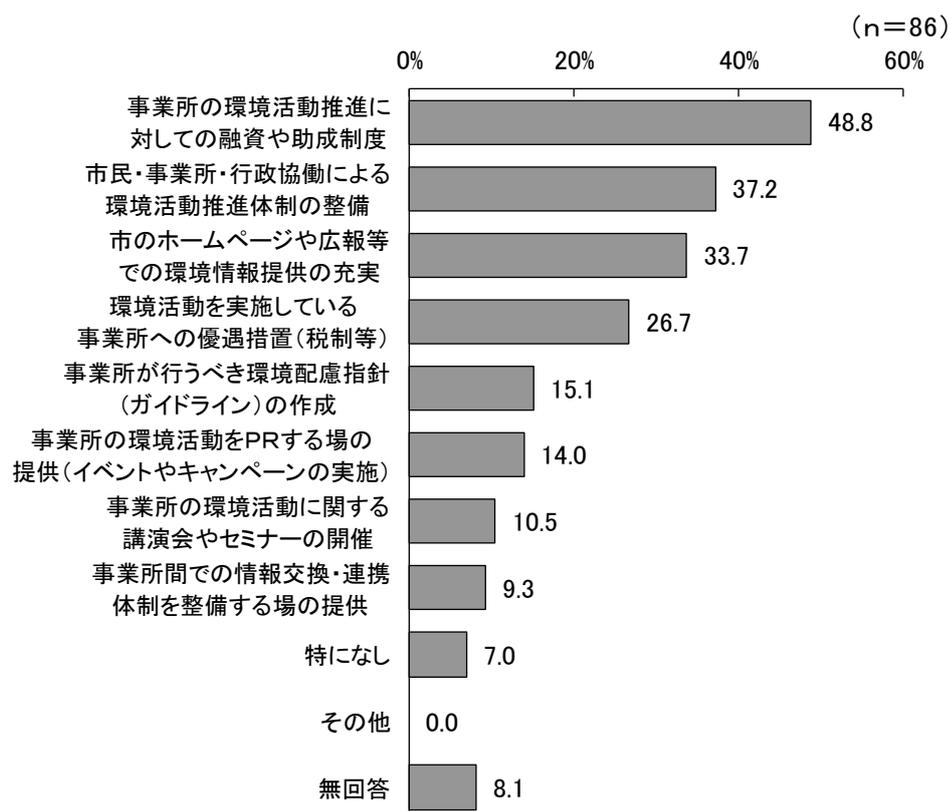
市が重点的に取り組むべき環境対策を聞いたところ、「印旛沼や河川等の水質改善、水循環の健全化」が77.9%と最も高く、次いで、「樹林地や農地などの自然環境の保全対策」と「ごみの不法投棄、ポイ捨てへの対策」が50.0%となっている。



## 5-2 環境活動を進めるために行政に望むこと

問 15 貴事業所が、環境活動を進めるために、行政が実施すると望ましいサポート等がありますか。あてはまる番号を3つまで○で囲んで下さい。

環境活動を進めるために行政に望むことを聞いたところ、「事業所の環境活動推進に対しての融資や助成制度」が48.8%と最も高く、次いで、「市民・事業所・行政協働による環境活動推進体制の整備」(37.2%)と「市のホームページや広報等での環境情報提供の充実」(33.7%)となっている。



## 第6節 自由回答

最後に、環境に関わるご意見等があれば、ご自由にお書き下さい。

最後に、環境に意見等を自由記入形式で求めたところ、6社（7.0%）の方からの記入がありました。以下は記入内容を分類し表にまとめたものです。一人で複数の意見を記入している場合は、それぞれ1件として数えているため、延べ件数は10件となりました。

分類	件数
環境教育・学習、環境活動	4
ポイ捨て、まちの美化	2
エネルギー対策・温暖化対策	1
ごみ減量、リサイクルについて	1
市内の緑化、公園の整備	1
その他	1